



## **Cisco Prime Network Control System アプリア ンス スタートアップ ガイド**

リリース 1.0.0

最終改訂日 : 2011 年 12 月

**【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/))をご確認ください。**

**本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報  
につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートが  
あり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますこと  
をご了承ください。  
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ  
イトのドキュメントを参照ください。**

**また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊  
社担当者にご確認ください。**

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

**FCC クラス A 準拠装置に関する記述:** この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

**FCC クラス B 準拠装置に関する記述:** この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 装置と受信機との距離を離します。
- 受信機と別の回路にあるコンセントに装置を接続します。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うこととなります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

CCVP, the Cisco logo, and Welcome to the Human Network are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PIX, ProConnect, ScriptShare, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

*Cisco Prime Network Control System* アプライアンス スタートアップ ガイド  
Copyright © 2011 Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

Copyright © 2011–2012, シスコシステムズ合同会社.  
All rights reserved.



## CONTENTS

### はじめに vii

このマニュアルについて vii

Cisco Prime Network Control System アプライアンス vii

一般的な警告、規制準拠、および安全性に関する情報 viii

## CHAPTER 1

### 設置および初期設定 1-1

サポート対象ハードウェア 1-2

必要なツールと情報 1-3

必要なハードウェア 1-3

CLI コンソールの要件 1-3

システム設定パラメータ 1-3

ハードウェア仕様 1-4

Cisco Prime Network Control System アプライアンスの物理的な場所の選択 1-5

一般的な注意事項 1-5

レーザー デバイス 1-5

スペースおよびエアフロー要件 1-5

温度要件 1-6

電力要件 1-6

Cisco Prime Network Control System アプライアンスの電源装置 1-6

バッテリー 1-7

アース要件 1-7

ラックに関する警告 1-7

Cisco Prime Network Control System アプライアンスの開梱 1-8

パッケージの内容 1-8

ラックへの Cisco Prime Network Control System アプライアンスの取り付け 1-8

ユニバーサル ラック マウント キットを使用したラック キャビネットへの Cisco Prime Network Control System アプライアンスの設置 1-9

前面パネルと背面パネル 1-15

前面パネル 1-15

前面パネルのコンポーネント 1-16

オペレータ情報パネル 1-16

オペレータ情報パネル コンポーネント 1-17

ライト パス 診断パネル 1-18

ライト パス 診断パネルのコンポーネント 1-19

背面パネル	1-21
背面パネルのコンポーネント	1-22
電源装置 LED	1-24
Cisco Prime Network Control System アプライアンスの電源機能	1-25
Cisco Prime Network Control System アプライアンスをオンにする	1-25
Cisco Prime Network Control System アプライアンスをオフにする	1-26
障害のあるホットスワップ ハード ディスク ドライブの交換	1-26
ホットスワップ AC 電源装置の交換	1-27
ケーブルの接続	1-29
CLI コンソールの接続と使用	1-30
Cisco Prime Network Control System アプライアンスの電源投入	1-30
Cisco Prime Network Control System アプライアンスの設定	1-31
自動インストール スクリプト	1-31
HA プライマリ マシン	1-32
HA セカンダリ マシン	1-32
NCS アプライアンスへのログイン	1-33
Cisco Wireless Controller System からのデータのエクスポート	1-34
Cisco Prime Network Control System への WCS データのインポート	1-34
NTP サーバの設定	1-34
Cisco Prime Network Control System アプライアンス ソフトウェアの状態の確認	1-35
手動による Cisco Prime Network Control System アプライアンス ソフトウェアの停止	1-35
緊急リカバリ	1-36
リカバリ ISO イメージのダウンロードと DVD への書き込み	1-36
リカバリ イメージのインストール	1-36
紛失した管理者パスワードの復旧	1-37

**APPENDIX A**

**システム時間帯 A-1**

**APPENDIX B**

**安全上の考慮事項および翻訳版の安全上の警告 B-1**

安全上の考慮事項	B-2
警告の定義	B-2
複数の電源装置	B-2
取り付け手順	B-3
アース線に関する警告	B-3
ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーシに関する警告	B-4
装置の設置についての警告	B-4

バッテリーの取り扱い B-5

製品の廃棄処分 B-5

電源ケーブルおよび AC アダプタ B-5

---

**APPENDIX C****規制情報 C-1**

Cisco Prime Network Control System アプライアンスに関する FCC 規定について C-1  
Declaration of Conformity with Regard to the EU Directive 1999/5/EC (R&TTE Directive)  
C-1

ステートメント 191 : VCCI 準拠クラス A 警告 (日本) C-2





## はじめに

---

### このマニュアルについて

このマニュアルでは、Cisco Prime Network Control System (NCS) アプライアンスを物理的に設置し、電源を投入する手順を段階的に説明します。

自動インストール スクリプトの実行に関する詳細と、そのインストール スクリプトに必要な情報についても記載されています。

設置と電源投入の完了後は、Cisco Prime Network Control System アプライアンスの追加情報について次の資料を参照してください。

- ソフトウェア設定情報の詳細については、『*Cisco Prime Network Control System Configuration Guide*』を参照してください。
- 機能のサポートと互換性情報の詳細については、『*Release Notes for Cisco Prime Network Control System*』を参照してください。

これらのマニュアルは Cisco.com から入手できます。

NCS 関連のマニュアルにアクセスする手順は次のとおりです。

- 
- ステップ 1** <http://www.cisco.com> を表示します。
  - ステップ 2** [Support] をクリックします。新しいウィンドウが表示されます。
  - ステップ 3** [Find Product Support] の下の [Wireless] をクリックします。[Select Your Product] または [Technology] ページが表示されます。
  - ステップ 4** [Find] フィールドに NCS と入力し、[Find] をクリックします。
  - ステップ 5** [Cisco Prime Network Control System Series Appliances] リンクをクリックします。[Cisco Prime Network Control System Introduction] ページが表示されます。
  - ステップ 6** 表示またはダウンロードするマニュアルに対応するリンクを選択します。
- 

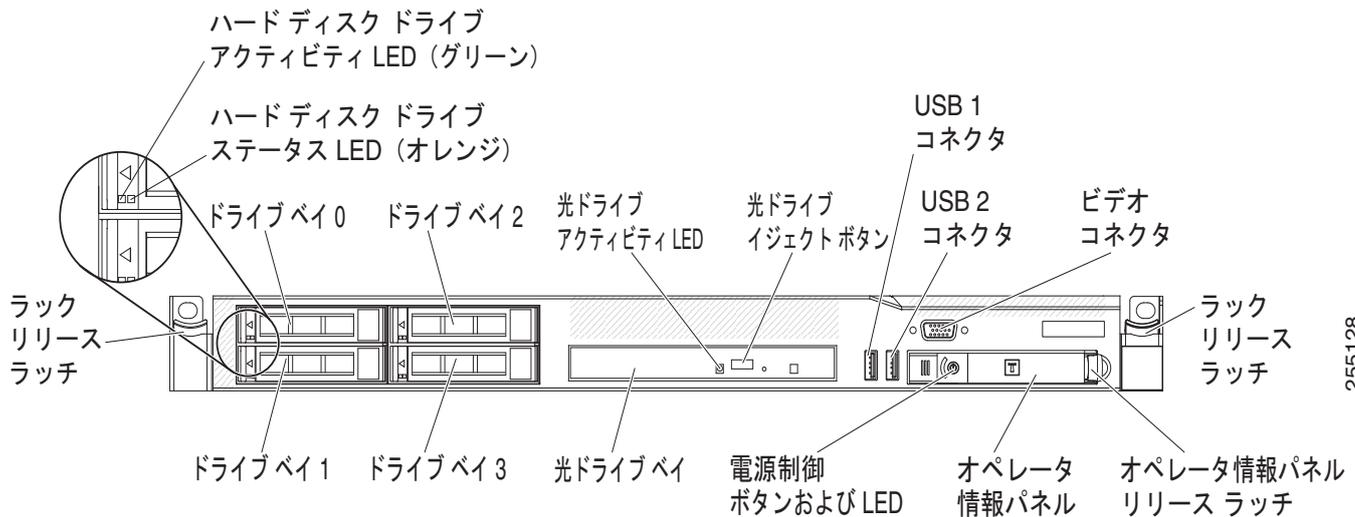
## Cisco Prime Network Control System アプライアンス

『*Cisco Prime Network Control System アプライアンス スタートアップガイド*』には、Cisco Prime Network Control System アプライアンスの設定に関する情報と手順、および Network Control System (NCS) アプライアンスのケーブル接続と設定の手順が記載されています。

Cisco Prime Network Control System アプライアンスでは、ライトパス診断テクノロジーが使用され、問題の診断に役立つLEDが搭載されています。ライトパス診断の詳細については、「[ライトパス診断パネル](#)」(P.18)を参照してください。

その他の診断情報およびトラブルシューティング情報については、診断とトラブルシューティングの表(表 1-3 (P.19) および表 1-4 (P.24))を参照してください。

図 1-1 Cisco Prime Network Control System アプライアンス



## 一般的な警告、規制準拠、および安全性に関する情報

### 表記法

誤って行うと危険が生じる可能性のある操作については、安全上の警告が記載されています。各警告文に、警告を表す記号が記されています。特定の警告は、それらの警告が適用される項に記載されています。



**警告**

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。警告の各国語版については、各警告文の末尾に提示されている番号をもとに、この機器に付属している各国語で記述された安全上の警告を参照してください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。



**注意**

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

## 警告

次の警告は、一般的な警告で、マニュアル全体に適用されます。特定の警告は、それらの警告が適用される項に記載されています。



警告

バッテリーが適正に交換されなかった場合、爆発の危険があります。交換用バッテリーは元のバッテリーと同じものか、製造元が推奨する同等のタイプのものを使用してください。使用済みバッテリーは、製造元の指示に従って処分してください。ステートメント 1015



警告

この装置は必ずアースを接続する必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。ステートメント 1024



警告

取り付け手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030



警告

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。ステートメント 1040

## 規制準拠と安全性に関する情報



(注)

Cisco Prime Network Control System アプライアンスの翻訳版の安全性に関する情報については、[付録 B](#)を参照してください。



(注)

Cisco Prime Network Control System アプライアンスの規制準拠に関する情報については、[付録 C](#)を参照してください。





# CHAPTER 1

## 設置および初期設定

---

この章では、Cisco Prime Network Control System (NCS) アプライアンスの初期の設置および設定方法を説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- 「サポート対象ハードウェア」 (P.1-2)
- 「必要なツールと情報」 (P.1-3)
- 「ハードウェア仕様」 (P.1-4)
- 「Cisco Prime Network Control System アプライアンスの物理的な場所の選択」 (P.1-5)
- 「Cisco Prime Network Control System アプライアンスの開梱」 (P.1-8)
- 「ラックへの Cisco Prime Network Control System アプライアンスの取り付け」 (P.1-8)
- 「前面パネルと背面パネル」 (P.1-15)
- 「障害のあるホットスワップ ハード ディスク ドライブの交換」 (P.1-26)
- 「ホットスワップ AC 電源装置の交換」 (P.1-27)
- 「ケーブルの接続」 (P.1-29)
- 「CLI コンソールの接続と使用」 (P.1-30)
- 「Cisco Prime Network Control System アプライアンスの電源投入」 (P.1-30)
- 「Cisco Prime Network Control System アプライアンスの設定」 (P.1-31)
- 「NCS アプライアンスへのログイン」 (P.1-33)
- 「Cisco Wireless Controller System からのデータのエクスポート」 (P.1-34)
- 「Cisco Prime Network Control System への WCS データのインポート」 (P.1-34)
- 「NTP サーバの設定」 (P.1-34)
- 「Cisco Prime Network Control System アプライアンス ソフトウェアの状態の確認」 (P.1-35)
- 「手動による Cisco Prime Network Control System アプライアンス ソフトウェアの停止」 (P.1-35)
- 「緊急リカバリ」 (P.1-36)



(注)

初期設置以降の設定の詳細については、次の URL にある『Cisco Prime Network Control System Configuration Guide』を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps11686/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps11686/tsd_products_support_series_home.html)

---

## サポート対象ハードウェア

NCS ソフトウェアは物理アプライアンスに同梱されていますが、インストール用のイメージとしてダウンロードするか、お客様の既存のサーバで仮想アプライアンスとして実行するソフトウェア イメージとしてダウンロードすることもできます。NCS 仮想アプライアンスは、表 1-1 に記載されているどのプラットフォームでも展開できます。

表 1-1 サポート対象ハードウェア

ハードウェア プラットフォーム	設定
Cisco Prime NCS ハイエンドアプライアンス (物理/仮想アプライアンス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハイ エンド仮想アプライアンスは、物理アプライアンス (PRIME-NCS-APL-K9) と同じ数の管理対象デバイスをサポートします。</li> <li>最大 15000 個の Cisco Aironet Lightweight アクセス ポイント、5000 個の Autonomous アクセス ポイント、5000 台のスイッチおよび 1200 台の Cisco ワイヤレス LAN コントローラをサポートします。</li> <li>プロセッサ : 8 (2.93 GHz 以上)。</li> <li>最小 RAM:16 GB。</li> <li>最小ハード ディスク領域割り当て : 400 GB。</li> </ul>
Cisco Prime NCS 標準仮想アプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大 7500 個の Cisco Aironet Lightweight アクセス ポイント、2500 個の Autonomous アクセス ポイント、2500 台のスイッチ、および 600 台の Cisco ワイヤレス LAN コントローラをサポートします。</li> <li>プロセッサ : 4 (2.93 GHz 以上)。</li> <li>最小 RAM:12 GB。</li> <li>最小ハード ディスク領域割り当て : 300 GB。</li> </ul>
Cisco Prime NCS ローエンド仮想アプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大 3000 個の Cisco Aironet Lightweight アクセス ポイント、1000 個の Autonomous アクセス ポイント、1000 台のスイッチ、および 240 台の Cisco ワイヤレス LAN コントローラをサポートします。</li> <li>プロセッサ : 2 (2.93 GHz 以上)。</li> <li>最小 RAM:8 GB。</li> <li>最小ハード ディスク領域割り当て : 200 GB。</li> </ul>
VMware ESX および ESXi バージョン (お客様の既存のサーバ上の仮想アプライアンス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の既存のサーバ上の仮想アプライアンスとして NCS を展開する場合、VMware ESX または ESXi の次のいずれかのバージョンを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>VMware ESX または VMware ESXi バージョン 4.0</li> <li>VMware ESX または VMware ESXi バージョン 4.1</li> </ul> </li> </ul>

## 必要なツールと情報

ここでは、NCS アプライアンスの設置とセットアップに必要なハードウェアやその他の情報を示します。

### 必要なハードウェア

米国電子工業会（EIA）準拠のラックに NCS アプライアンスを設置するには、次の装置が必要です。

- Cisco Prime Network Control System アプライアンス
- ネットワーク ケーブル
- EIA 標準ラック内の 1 ラック ユニット（RU）の空きスペース
- ラック マウント キット（Cisco Prime Network Control System アプライアンスに付属）
- シリアル コンソール ケーブル



**(注)** この装置をネジ穴ラックに設置する場合は、ネジ穴ラックに合ったネジと、それらのネジに適したドライバまたはトルクス ドライバを使用する必要があります。

### CLI コンソールの要件

ラップトップ、デスクトップ、またはパームトップで NCS アプライアンス コンソールに接続するには、ANSI または VT-100 ターミナル エミュレータ アプリケーションが必要です。

### システム設定パラメータ

次のパラメータをネットワーク管理者から取得します。

- NCS アプライアンスのホスト名
- NCS アプライアンスの IP アドレス
- IP アドレスのデフォルト ネット マスク
- デフォルト ゲートウェイの IP アドレス
- デフォルトの DNS ドメイン
- プライマリ ネーム サーバの IP アドレス
- プライマリ NTP サーバ

# ハードウェア仕様

表 1-2 に、NCS アプライアンスのハードウェア仕様を示します。

表 1-2 NCS アプライアンスのハードウェア仕様

サイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 RU</li> <li>高さ : 43 mm (1.7 インチ)</li> <li>奥行 : 711 mm (28.0 インチ)</li> <li>幅 : 440 mm (17.3 インチ)</li> <li>重量 : 約 14 kg</li> </ul>
電源装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>675 W 高性能、ホットスワップ可能電源装置 X 2</li> <li>冗長冷却ファン X 6 (各ファンに 2 つのモーター付き)</li> </ul>
CPU/メモリ/ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>CPU : 2 x Intel Xeon プロセッサ (2.4 GHz 12 MB キャッシュ)</li> <li>メモリ : 16 GB (1 ~ 2 GB、2Rx8) PC3-10600 CL9 ECC DDR3</li> <li>ネットワーク インターフェイス カード : 2 x 10/100/1000 ギガビット</li> </ul>
ハード ディスクおよび RAID	<ul style="list-style-type: none"> <li>RAID-5</li> <li>4 x 146G SAS ディスク (ホットスワップ可能)</li> <li>LSI MegaRAID 高性能 RAID コントローラ (512 MB オンボード キャッシュ搭載)</li> </ul>
気温	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバ動作時 : 10 ~ 35 °C (50 ~ 95 °F)、高度 : 0 ~ 914.4 m (3000 フィート)、高度が 1000 フィート増すごとにシステム温度が 1.0 °C ずつ低下</li> <li>サーバ非動作時 : 5 ~ 45 °C (41 ~ 113 °F)、最大高度 : 3048 m (10000 フィート)</li> <li>出荷時 : -40 ~ 60 °C (-40 ~ 140 °F)、最大高度 : 3048 m (10000 フィート)</li> </ul>
湿度	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバ動作時 : 20 ~ 80 %、</li> <li>最大露点 : 21 °C、</li> <li>最大変化率 : 5 °C/時 サーバ非動作時 : 8 ~ 80 %</li> </ul>
電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>電圧 : 100 ~ 120 VAC および 200 ~ 240 VAC</li> <li>電源 : システム定格 780 W</li> <li>BTU/時 : システム定格 2661 BTU/時</li> <li>ピーク時突入電流 (4 ミリ秒) : 60 A</li> </ul>
pMTBF 目標	130,000
予測される MTBF	142,577 時間
予測される月間故障率	0.511 %
予測される年間故障率	5.963 %
予測される RMA 率	5,110 PPM

# Cisco Prime Network Control System アプライアンスの物理的な場所の選択

最大限の安全性と確実性を確保するため、次のガイドラインに従って NCS アプライアンスを取り付けてください。

## 一般的な注意事項

怪我または NCS アプライアンスの破損を防止するため、次の注意事項に従ってください。

- 製品は、ラジエータ、ヒート レジスタ、ストーブ、アンプ、またはその他の熱を発生する製品から離れた場所に配置してください。
- 湿気の多い場所では、製品を使用しないでください。
- 製品の開口部から異物を入れないでください。
- 感電による怪我を防止するため、製品のラックを開けないでください。

## レーザー デバイス

レーザー デバイスは、NCS アプライアンスの DVD 内に使用されています。お客様のサイトでの DVD の使用法は定義されていません。

危険な放射線の被爆を防止するため、次の注意事項に従ってください。

- レーザー デバイスのラックを開けようとししないでください。ユーザが保守できるコンポーネントは収納されていません。
- レーザー デバイスに対して、ここに指定されている以外の制御、調整、および手順を行わないでください。
- レーザー デバイスを修理できるのは、シスコ認定のサービス技術者だけです。

## スペースおよびエアフロー要件

EIA 標準ラックに NCS アプライアンスを設置します。NCS アプライアンスごとに 1 ラック ユニットが必要です。

NCS アプライアンスおよびすべてのケーブルに手が届くことを確認します。

- NCS アプライアンスが、10/100/1000BASE-T ポートに接続している装置から 100 m (328 フィート) 相当の距離の範囲内にあることを確認します。
- 電源コードが、アースされている 110 または 220 VAC のコンセントに届くことを確認します。

NCS アプライアンスの後ろ側にすべてのケーブルおよびコネクタが収まる十分なスペースがあることを確認します。

- ラックの前側に 63.5 cm (25 インチ) 以上の空間を確保します。
- ラックの後ろ側に 76.2 cm (30 インチ) 以上の空間を確保します。
- ラックの背面から、別のラックまたはラックの列の背面まで、121.9 cm (48 インチ) 以上の空間を確保します。

**注意**

不十分な冷却や装置の損傷を防止するため、通気口を塞がないでください。

**注意**

ラック内の縦の空きスペースを埋めるため、必ずブランク パネルを使用します。これにより、適切なエアフローを確保できます。ブランク パネルなしでラックを使用すると、冷却が不十分になり、温熱損傷を引き起こすおそれがあります。

**注意**

使用するラックを選択するときは、十分なエアフローを確保し、装置の損傷を防止するため、次の追加要件に従ってください。(1) 前面扉と背面扉：42U ラックに閉鎖型の前面扉および背面扉が付いている場合は、十分なエアフローを確保するために、上部から下部にわたって 5,350 cm<sup>2</sup> (830 平方インチ) の穴を均一に配置する必要があります (換気のために必要な 64 パーセントの開口部と同等になります)。(2) 側面：設置したラック コンポーネントとラックのサイド パネルの間は、7 cm (2.75 インチ) 以上空けてください。

## 温度要件

装置が安全で正常に動作するように、通気がよく温度管理の行き届いた場所にシステムを設置または配置してください。

装置をラックに設置した場合の温度上昇を考慮に入れて、動作温度が 10 ~ 35 °C (50 ~ 95 °F) であることを確認してください。

**注意**

他社製オプションを設置する場合は、装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。(1) オプションの装置によって、NCS アプライアンスのエアフローを妨げたり、ラック内部の温度が最大値を超えたりしないようにしてください。(2) メーカーが定めた最大推奨周囲温度 (TMRA) を超えないようにしてください。

## 電力要件

この装置は、情報テクノロジー装置の設置について規定した、ご使用の地域の電気規格に従って資格のある電気技師が設置する必要があります。この装置は、NFPA 70、1999 Edition (National Electric Code)、および NFPA-75、1992 (Code for Protection of Electronic Computer/Data Processing Equipment) で規定されているシステム構成で動作するように設計されています。オプションの電気定格については、製品の定格ラベルまたはそのオプションに付属のユーザ マニュアルを参照してください。

**注意**

NCS アプライアンスを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、規定の無停電電源装置 (UPS) を使用してください。UPS は、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもシステムが動作を継続できるようにします。

## Cisco Prime Network Control System アプライアンスの電源装置

NCS アプライアンスには、電源装置が 2 台搭載されています。



警告

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。装置の電源を遮断するには、すべての接続を取り外す必要があります。ステートメント 1028



注意

NCS アプライアンスに接続された外部電源が、電気定格ラベルに示されている電源のタイプと一致することを確認します。必要な電源の種類が不明な場合は、シスコ認定リセラーまたは現地の電力会社にお問い合わせください。

## バッテリー

NCS アプライアンスには、過塩素酸塩が含まれているリアルタイム クロック バッテリーまたはコインセル バッテリーが搭載されている可能性があり、カリフォルニア州でリサイクルまたは廃棄処分にするときは特別な取り扱いが必要になる場合があります。

廃棄処分の情報については、次のリンクを参照してください。

<http://www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate>



注意

バッテリーを一般の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。バッテリーのリサイクルには、公共の回収システムを使用してください。

## アース要件

NCS アプライアンスは、正常な動作と安全を確保するため、適切にアースする必要があります。米国では、NFPA 70、1999 Edition (National Electric Code)、Article 250 のほか、地域の建築基準法に従って装置を設置する必要があります。カナダでは、カナダ規格協会の CSA C22.1、Canadian Electrical Code に従って装置を設置する必要があります。その他のすべての国では、国際電気標準会議 (IEC) Code 364、Part 1 ~ 7 など、地域または国内の電気配線規制に従って装置を設置する必要があります。

さらに、設置に使用する分岐配線やコンセントなどのすべての配電デバイスが、記載された、または認証されたアースタイプ デバイスであることを確認してください。同一電源に複数のシステムを接続すると、高い漏れ電流が発生するため、シスコでは、建物の分岐回路に永久的に配線されている PDU、または工業用プラグに配線される切り離し不可能なコードが装着された PDU を使用することを推奨しています。NEMA ロック式プラグや、IEC 60309 に準拠したプラグは、この目的に適合していると考えられます。NCS アプライアンスに共通の電源出力ストリップの使用は推奨されません。

## ラックに関する警告



警告

ラックに装置を取り付けたり、ラック内の装置のメンテナンス作業を行ったりする場合は、事故を防ぐため、装置が安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。次のガイドラインは、安全に作業を行ってもらうために用意してあります。(1) この装置は、ラックに 1 つだけの場合は、一番下に搭載するようにしてください。(2) ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。(3) ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックへの装置の設置やラック内の装置の保守を行ってください。ステートメント 1006

**注意**

ラックを荷降ろしするときは、怪我や装置の破損を防止するため、2人以上で安全にパレットからラックを降ろす必要があります。

**注意**

破損防止のため、水分や過度の湿気が NCS アプライアンスに入り込まないようにしてください。

## Cisco Prime Network Control System アプライアンスの開梱

NCS アプライアンスを開梱するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** 梱包箱を開いて、中味を慎重に取り出します。
- ステップ 2** 梱包資材をすべて箱に戻して保管しておきます。
- ステップ 3** 「[パッケージの内容](#)」の項に記載されているすべての品目が揃っていることを確認します。
- ステップ 4** 各品目に破損がないことを確認します。品目が破損または不足している場合は、シスコの営業担当者にご連絡ください。

### パッケージの内容

各 Cisco Prime Network Control System アプライアンス パッケージの内容は、次のとおりです。

- Cisco Prime Network Control System アプライアンス X 1
- ラック マウント キット X 1
- 電源コード X 2

## ラックへの Cisco Prime Network Control System アプライアンスの取り付け

**警告**

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた対応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030

**注意**

NCS アプライアンスは重量があります (35 ポンド、15.9 kg)。

怪我や装置の破損を防止するため、次の点に注意してください。

- 資材の取り扱いについては、地域の職業安全衛生要件およびガイドラインに従ってください。

- 特にシステムがレールに固定されていない場合は、設置や取り外しの際に NCS アプライアンスを持ち上げ、安定させるために手助けを受けることが推奨されます。
- NCS アプライアンスのラックへの設置やラックからの取り外しは、慎重に行ってください。レールに固定されていないと、装置は不安定になります。
- 必ず、最も重い品目がラックの一番下になるように、ラックの設置を計画してください。最も重い品目を最初に設置して、下から順番に取り付けていきます。

NCS アプライアンスには、四角穴ラック、丸穴ラック、またはネジ穴ラックに取り付けることのできる、ユニバーサルラックマウントキットが付属しています。交換用のユニバーサルラックマウントキットは、シスコに発注できます。交換部品 PID は、AIR-SRVR-URMK= です。

**(注)**

取り付けレールをラックに固定するためのネジ穴用のネジを用意する必要があります。ネジ穴用のネジは、システムに付属していません。

## ユニバーサルラックマウントキットを使用したラックキャビネットへの Cisco Prime Network Control System アプライアンスの設置

安全性とケーブル接続の情報については、ラックキャビネットに付属のマニュアルを参照してください。ラックキャビネットに NCS アプライアンスを設置する前に、次のガイドラインを確認してください。

- 室温は、35 °C (95 °F) 未満に保ってください。
- 通気孔をふさがないでください。通常、15 cm (6 インチ) のスペースで十分なエアフローを確保できます。
- ラックキャビネットに設置した NCS アプライアンスの上部や下部のスペースを空けたままにしないでください。NCS アプライアンスコンポーネントの破損を防止するため、必ずブランクフィルターパネルを取り付けて空いたスペースを覆い、適切に換気されるようにしてください。
- NCS アプライアンスの設置には、穴あき型ドアの付いたラックキャビネットのみを使用してください。
- デバイスの設置は、ラックキャビネットの一番下から始めるように計画してください。
- 最も重いデバイスをラックキャビネットの一番下に設置してください。
- 一度に複数のデバイスをラックキャビネットの外側に張り出させないでください。
- 作業しやすいように、設置時はラックドアとサイドパネルを取り外してください。
- NCS アプライアンスは、正しくアースされたコンセントに接続してください。
- ラックキャビネットに複数のデバイスを設置する場合は、電源コンセントの過負荷が発生しないようにしてください。
- NCS アプライアンスは、次の要件を満たすラックに設置してください。
  - 前面の取り付けフランジから前面扉の内側までの奥行きが 70 mm (2.76 インチ) 以上。

**注意**

安全な方法で持ち上げてください。



≥ 18 kg (39.7 lb.)



≥ 32 kg (70.5 lb.)



≥ 55 kg (121.2 lb.)



注意

ラックに取り付けたデバイスの上に物を置かないでください。

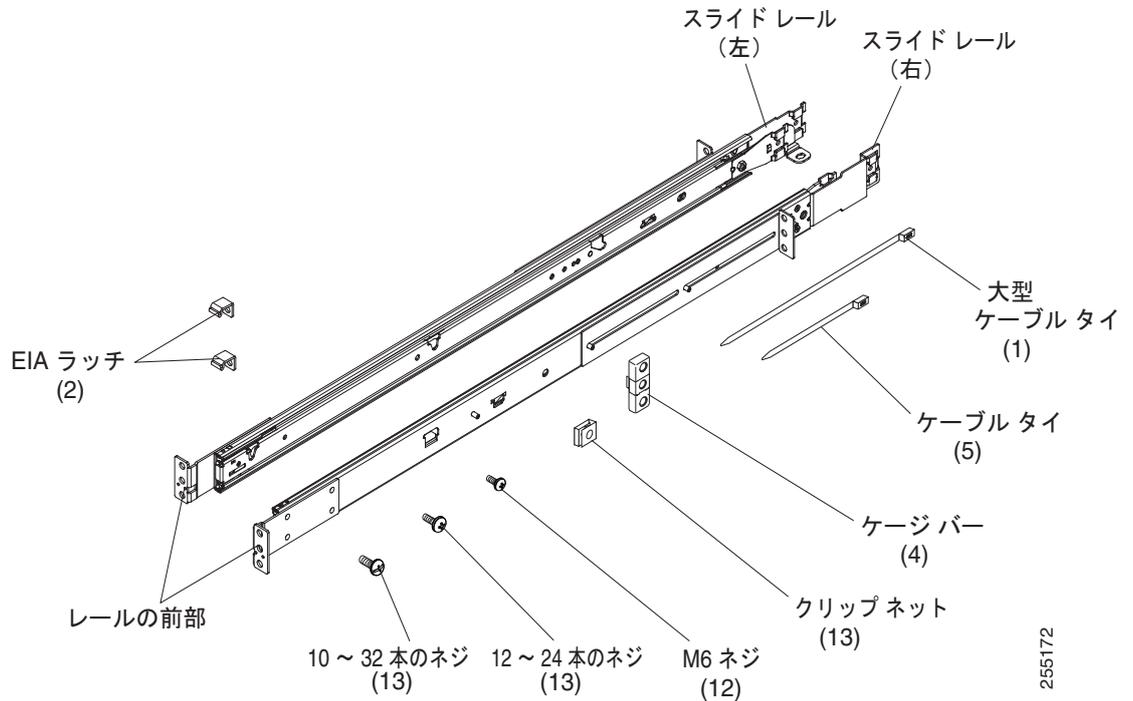


次の図は、NCS アプライアンスをラック キャビネットに設置するために必要な品目を示しています。品目が不足または破損している場合は、購入店にお問い合わせください。



(注)

一部の品目は、ラック取り付けキットではなく、NCS アプライアンスに付属しています。



(注)

四角穴のラックにケージバー、丸穴のラックにクリップネット、およびネジ穴のラックには各自で用意するネジ、またはこのキットに付属のネジを使用してください。

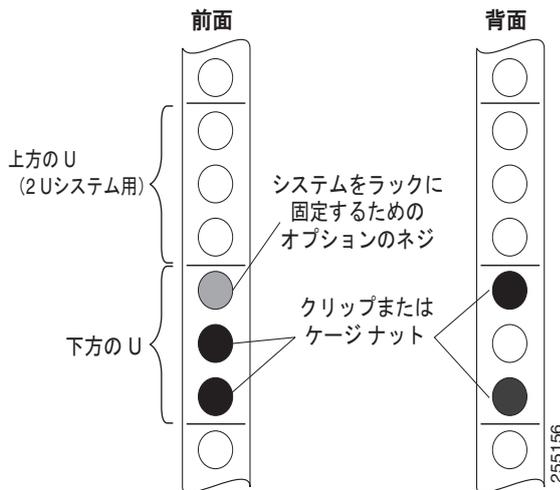


(注)

ラック取り付けキットのスライド レールに輸送用取り付けネジが付いていた場合は、それらのネジを外してから次の設置手順に取り掛かってください。

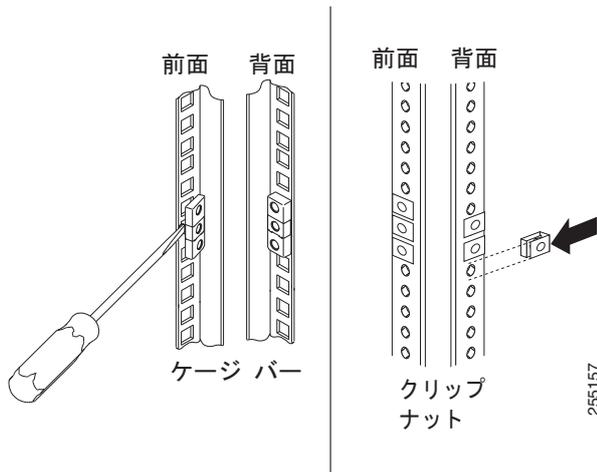
**ステップ 1**

ラック内で NCS アプライアンスの設置が可能な 1 U スペースを選択します。丸穴または四角穴のラックの場合は、ラック前面の両側にある下方の U の中央の穴と一番下の穴（任意で上の穴）にケージバーまたはクリップ ナットを取り付けます。次に、ラック背面の両側にある下方の U の上側の穴と一番下の穴にケージバーまたはクリップ ナットを取り付けます。



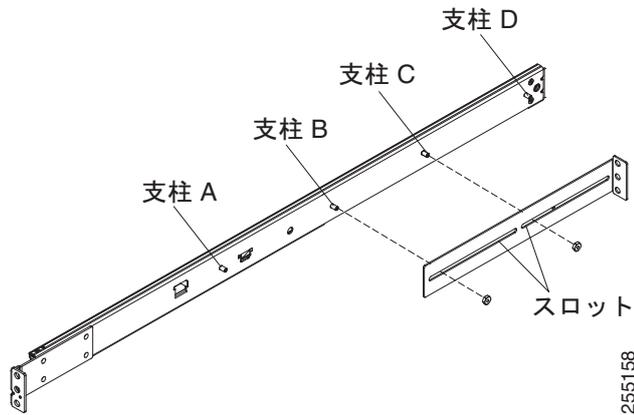
**ステップ 2**

ドライバを使用して、取り付けレールの内側の選択した穴にケージバーまたはクリップ ナット（ラックに応じて）を取り付けます。

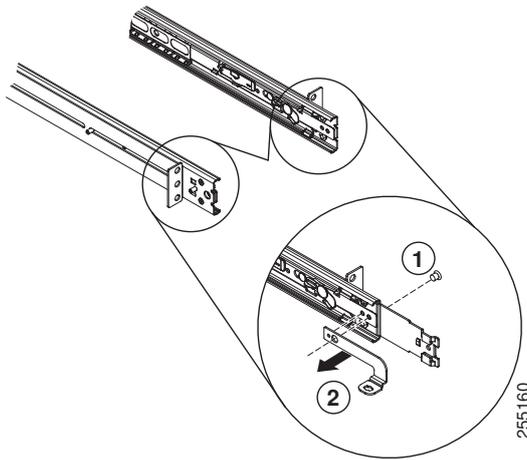


**ステップ 3**

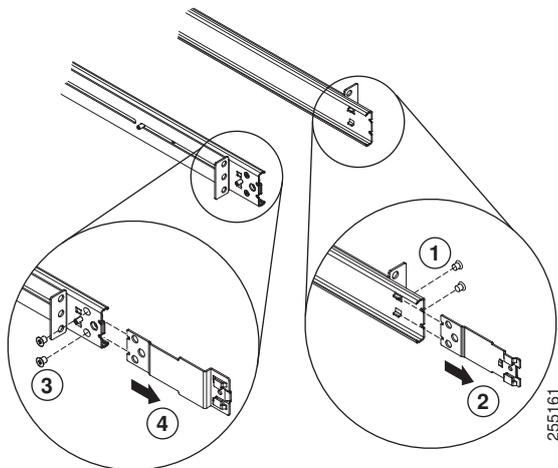
レールの奥行きは、17 インチ (432 mm) から 31.25 インチ (794 mm) まで調節できます。奥行きを調節するには、支柱のナットを緩め、前面と背面のスライド レール フランジ間の距離と、ラック キャビネットの前面と背面の EIA レール間の距離が一致するまでブラケットをスライドさせます。さらに調節する必要がある場合は、ナットを取り外し、ブラケットを支柱 (A、B、C、および D) の適切なセットに移動させてから、ナットを再び取り付けて締めます。



- ステップ 4** 支持ブラケットを取り外すには、ネジを外し (1)、スライドレールの背面からブラケットを取り外します (2)。



- ステップ 5** 取り付けブラケットを取り外すには、ネジ (1) と (3) を外します。ブラケット (2) と (4) をスライドレールの後部から引き抜きます。



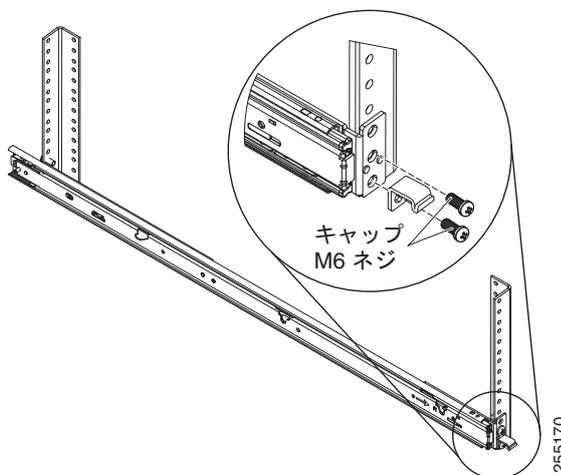
- ステップ 6** 下方の U の下の穴にネジを取り付けて、スライド レールの前部と EIA ラッチをラック キャビネットの前面に接合します。次に、下方の U の中央の穴に別のネジを取り付けて、スライド レールの前部をラック キャビネットの前面に接合します。



- (注) スライドをラックに固定するときは、ネジが付いており、フランジがわずかに動くことを確認してください。ステップ 9 で、ドライバを使用してネジを完全に締めます。

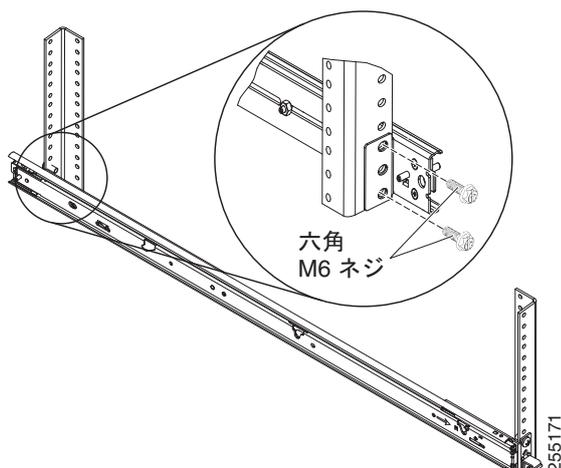


- (注) 丸穴または四角穴（ネジ穴を除く）のあるラックにこのシステムを設置する場合は、前面取り付けブラケットに 12 ~ 24 本のネジ（六角 M6 ネジではない）を使用します。



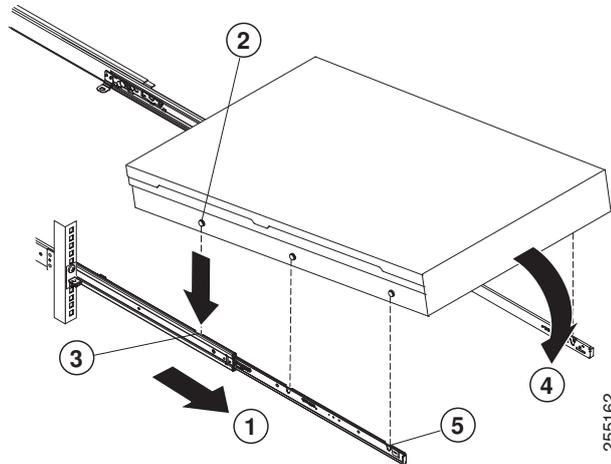
- ステップ 7** 下方の U の上の穴と下の穴で 2 本のネジを使用して、スライド レールの後部をラック キャビネットの背面に接合します。

ステップ 3 からステップ 7 までを繰り返して、残りのスライド レールをラックに取り付けます。



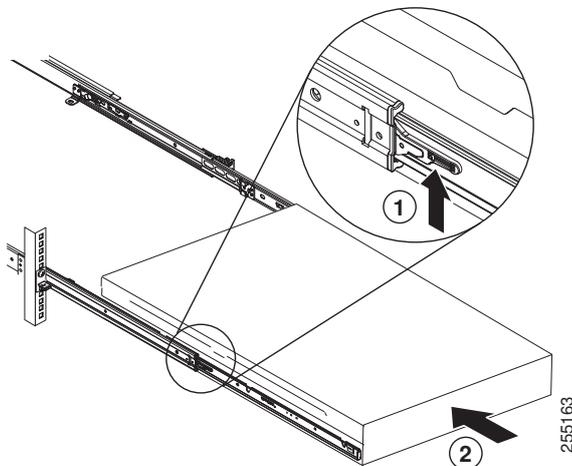
- ステップ 8** 所定の位置にカチッとハマるまで、スライド レールを 2 回前方に引きます (1)。NCS アプライアンスを慎重に持ち上げてから、スライド レール上で所定の位置に合わせて傾け、NCS アプライアンスの背面ネイルヘッド (2) がスライド レールの後部スロット (3) とぴったり合うようにします。背面ネイ

ルヘッドが 2 つの背面スロットにはまるまで NCS アプライアンスをスライドさせてから、残りのネイルヘッドがスライドレールの残りのスロットにはまるまで NCS アプライアンスの前面をゆっくり下ろします (4)。前部ラッチ (5) がネイルヘッド上をスライドすることを確認します。



**ステップ 9** スライドレール上にあるロックレバー (1) を上に動かし、NCS アプライアンス (2) をラックの奥へ、カチッと所定の位置にはまるまで押し込みます。

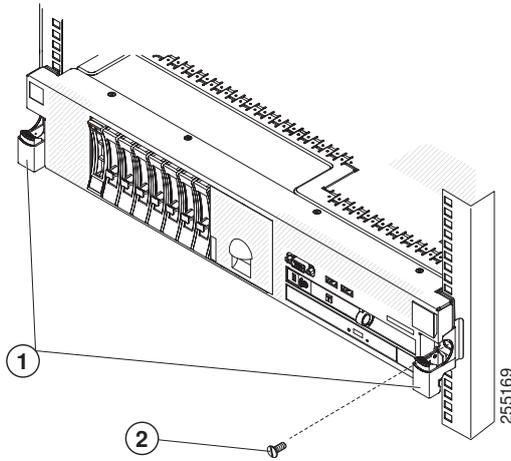
システムを 2 回押し引きして、適切にスライドすることを確認します。システムはできるだけラックの奥へ押し込みますが、ドライバでネジを扱えるようにしておきます。次に、ドライバでネジを締めます。



**ステップ 10** NCS アプライアンスがカチッと所定の位置にはまるまで、ラックの奥へスライドさせます。NCS アプライアンスをラックから引き出すには、リリースラッチ (1) を押します。



(注) ラックキャビネットを移動するときや、振動プローブのエリアにラックキャビネットを設置する場合は、NCS アプライアンスの前面にオプションの M6 ネジ (2) を挿入します。



ラックから NCS アプライアンスを取り外すには、これらの手順を逆行していきます。この情報は、今後のために、NCS アプライアンスのマニュアルと一緒に保管してください。

## 前面パネルと背面パネル

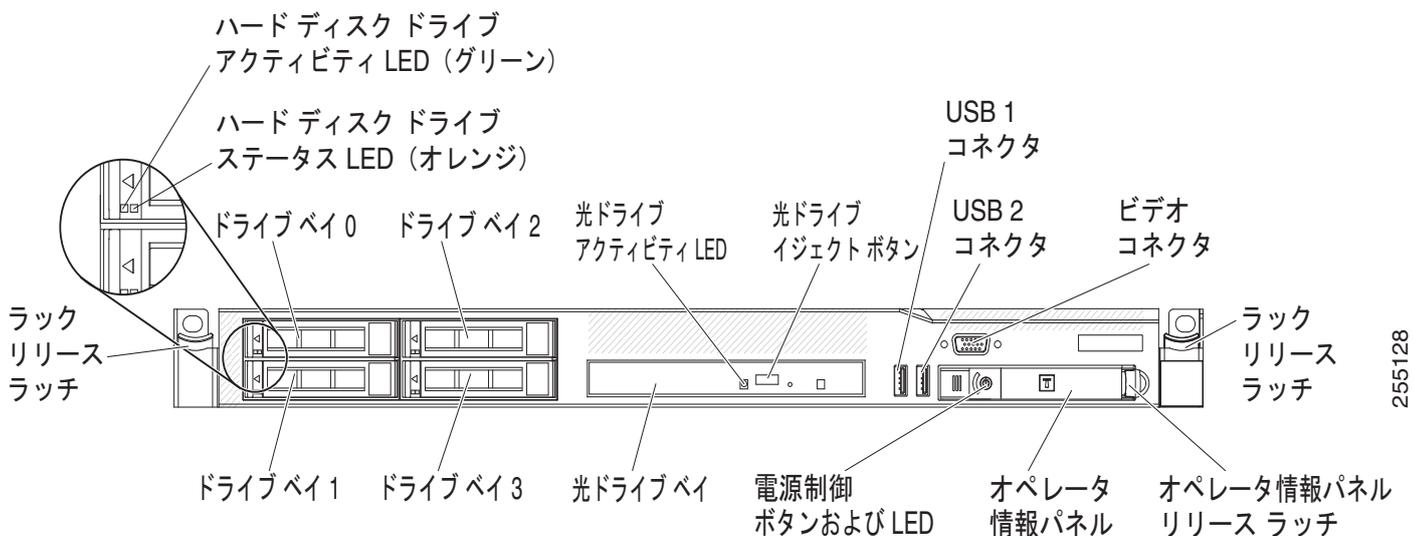
ここでは、コントロールと Light-Emitting Diode (LED) について、および Cisco Prime Network Control System アプライアンスのオン/オフを切り替える方法について説明します。

### 前面パネル

図 1-1 に、Cisco Prime Network Control System アプライアンスの前面パネルにあるコントロール、LED、およびコネクタを示します。

図 1-2 に、オペレータ情報パネルの詳細なビューを示します。

図 1-1 Cisco Prime Network Control System アプライアンスの前面パネル



255128

## 前面パネルのコンポーネント

- **ラック リリース ラッチ** : NCS アプライアンスをラックから取り外すには、NCS アプライアンスの前端両側にあるラッチを押します。
- **ハードディスク ドライブ ステータス LED** : この LED は、SAS ハードディスク ドライブのステータスを示すためのものです。この LED が点灯しているときは、ドライブに障害が発生していることを示しています。この LED がゆっくり (1 秒に 1 回) 点滅しているときは、ドライブが再構築中であることを示しています。この LED がすばやく (1 秒に 3 回) 点滅しているときは、コントローラがドライブを識別していることを示しています。
- **ハードディスク ドライブのアクティビティ LED** : 各ホットスワップ ハードディスク ドライブにはアクティビティ LED があり、この LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示しています。
- **光ドライブ イジェクト ボタン** : DVD ドライブから DVD または CD を取り出すには、このボタンを押します。
- **光ドライブのアクティビティ LED** : この LED が点灯しているときは、DVD ドライブが使用中であることを示しています。
- **オペレータ情報パネル** : このパネルには、NCS アプライアンスのステータスに関する情報を提供するコントロールと LED があります。オペレータ情報パネルのコントロールと LED の詳細については、「[オペレータ情報パネル](#)」(P.1-16) を参照してください。
- **オペレータ情報パネル リリース ラッチ** : ライト パス診断パネルを引き出し、ライトパス診断の LED とボタンが見えるようにするには、青色のリリース ラッチを左にスライドさせます。ライトパス診断の詳細については、「[ライトパス診断パネル](#)」(P.1-18) を参照してください。
- **ビデオ コネクタ** : このコネクタにモニタを接続します。NCS アプライアンスの前面および背面にあるビデオ コネクタは、同時に使用できます。



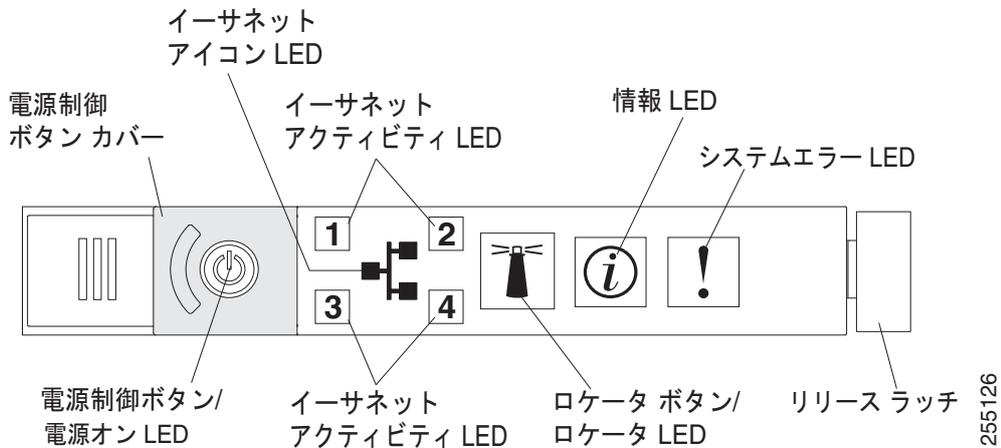
(注) 最大ビデオ解像度は 1600 x 1200、75 Hz です。

- **USB コネクタ** : USB マウスやキーボードなどの USB デバイスをこれらのいずれかのコネクタに接続します。

## オペレータ情報パネル

図 1-2 に、オペレータ情報パネルにあるコントロールと LED の詳細なビューを示します。

図 1-2 Cisco Prime Network Control System アプライアンス オペレータ情報パネルの拡大図



## オペレータ情報パネル コンポーネント

- **電源制御ボタンおよび電源オン LED** : NCS アプライアンスを手動でオンやオフにしたり、省電力状態から起動したりするには、このボタンを押します。電源オン LED の状態は次のとおりです。
  - 消灯 : 電力が供給されていないか、電源装置または LED 自体に障害が発生しています。
  - 高速点滅 (1 秒に 4 回) : NCS アプライアンスはオフになっており、オンにする準備が整っていません。電源制御ボタンはディセーブルになります。この状態は、約 20 ~ 40 秒間続きます。
  - 低速点滅 (1 秒に 1 回) : NCS アプライアンスはオフになっており、オンにする準備が整っています。電源制御ボタンを押すと、NCS アプライアンスがオンになります。
  - 点灯 : NCS アプライアンスがオンになっています。
  - 徐々に退色する点滅 : NCS アプライアンスは省電力状態にあります。NCS アプライアンスを起動するには、電源制御ボタンを押します。
- **イーサネット アクティビティ LED** : これらの LED のいずれかが点灯しているときは、NCS アプライアンスが、その LED に対応するイーサネット ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号を送信または受信していることを示しています。
- **システムロケータ ボタン/LED** : 他のサーバ間で NCS アプライアンスの位置を視覚的に特定するには、このブルーの LED を使用します。この LED は、存在検出ボタンとしても使用されます。システムロケータ ボタンを押すと、LED が点滅し、ボタンを再び押してオフにするまで点滅し続けます。
- **システム情報 LED** : このオレンジの LED が点灯しているときは、非クリティカル イベントが発生していることを示しています。
- **システムエラー LED** : このオレンジの LED が点灯しているときは、システム エラーが発生していることを示しています。システムエラー LED は、NCS アプライアンスの背面にもあります。オペレータ情報パネルの上にあるライト パス診断パネルの LED の点灯は、エラーの特定にも役立ちます。

## ライトパス診断パネル

ライトパス診断パネルは、オペレータ情報パネルの上部にあります (図 1-3 を参照)。ライトパス診断パネルの LED の追加情報については、表 1-3 を参照してください。

ライトパス診断パネルを利用するには、オペレータ情報パネルの青色のリリース ボタンを左にスライドさせます。オペレータパネルのヒンジがシャーシから外れるまで、装置を前方に引き出します。その後、ライトパス診断パネル情報が見えるように、装置を引き下げます。



(注)

NCS アプライアンスからライトパス診断パネルを引き出し、LED またはチェックポイント コードを確認する際は、NCS アプライアンスの外側にライトパス診断パネルを引き出したままで NCS アプライアンスを稼働させないでください。パネルを NCS アプライアンスの外側に出しておく時間は短めにしてください。NCS アプライアンスが適切に冷却されるように稼働しているときは、ライトパス診断パネルを NCS アプライアンス内に留めておく必要があります。

図 1-3 ライトパス診断パネル

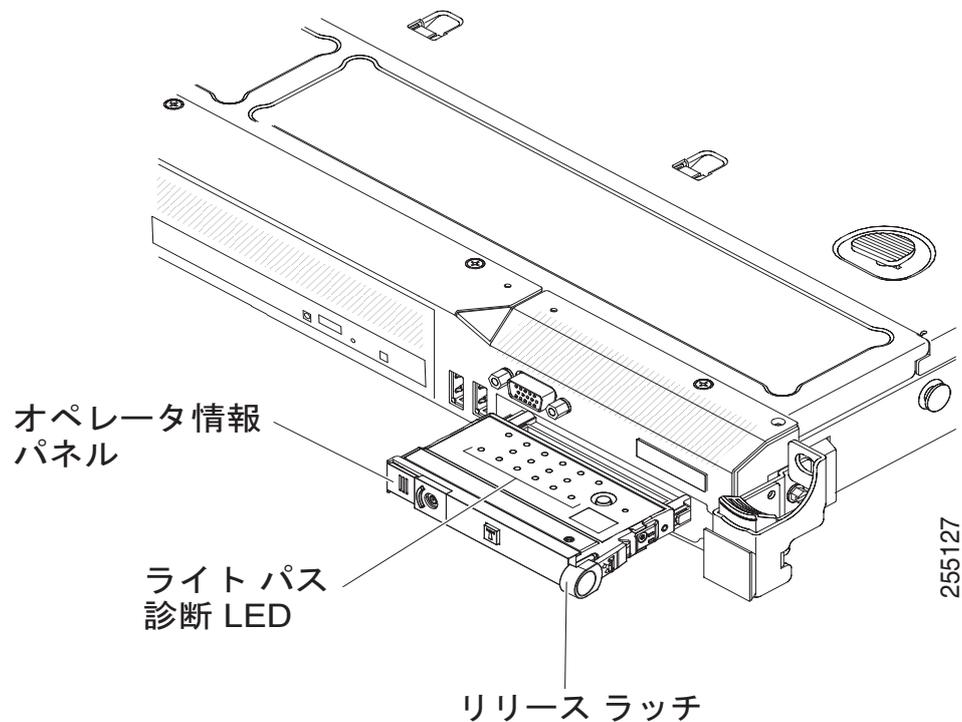
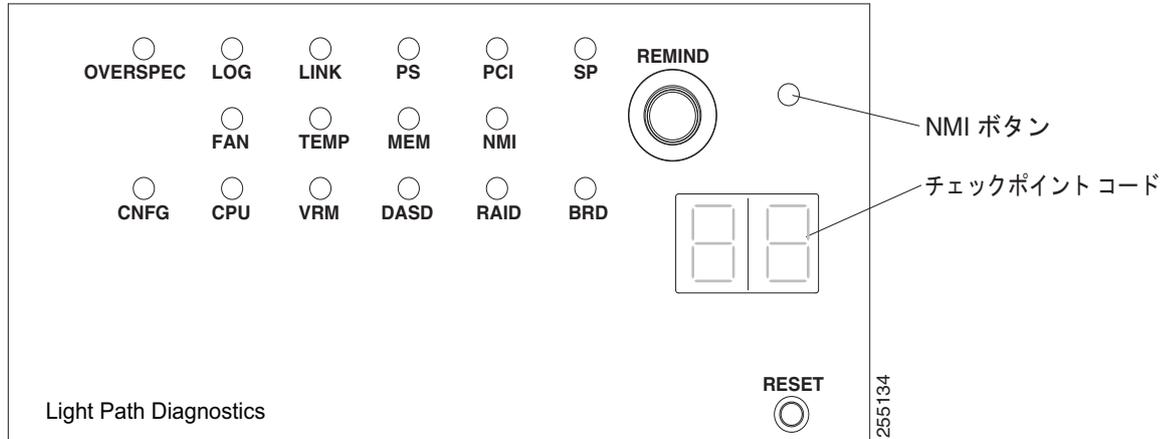


図 1-4 に、ライトパス診断パネル上の LED とコントロールを示します。

図 1-4 ライトパス診断パネルのコンポーネント



## ライトパス診断パネルのコンポーネント

- REMIND ボタン**：このボタンを押すと、前面パネルのシステムエラー LED がリマインドモードになります。リマインドモードでは、問題が修正されるか、NCS アプライアンスが再起動されるか、新しい問題が発生するまで、システムエラー LED が 2 秒に 1 回点滅します。  
 システムエラー LED インジケータをリマインドモードにすることにより、最後の障害を認識しているものの、問題を修正するための処置をすぐには取らないことを確認します。
- NMI ボタン**：このボタンは、マイクロプロセッサに対するマスク不能割り込みを実施するために使用します。このボタンは現在、Cisco Prime Network Control System アプライアンスでは使用されていません。このボタンは、Cisco TAC 担当者から指示があった場合のみ押してください。
- チェックポイントコードディスプレイ**：このディスプレイには、ブートブロックおよび POST 時にシステムが停止したポイントを示すチェックポイントコードが表示されます。チェックポイントコードは、UEFI によって作成されたバイト値またはワード値です。このディスプレイには、エラーコードも、コンポーネントの交換の提案も表示されません。
- RESET ボタン**：このボタンを押すと、NCS アプライアンスをリセットし、電源投入時セルフテスト (POST) を実行できます。ボタンを押すには、ペンまたはまっすぐに伸ばしたペーパークリップの端を使用しなければならない場合があります。RESET ボタンは、ライトパス診断パネルの右下隅にあります。

表 1-3 ライトパス診断パネルの LED

問題が解決されるまで、アクション列に示されている順番のとおり、提案されるアクションを実行してください。		
LED	説明	アクション
なし。ただし、システムエラー LED が点灯。	エラーが発生していますが、特定できません。エラーはパスで表示されません。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
OVER SPEC	電源が、最大定格よりも多くの電力を使用しています。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。

表 1-3 ライトパス診断パネルの LED (続き)

問題が解決されるまで、アクション列に示されている順番のとおり、提案されるアクションを実行してください。

LED	説明	アクション
LOG	エラーが発生しました。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
LINK	予約されています。	—
PS	電源装置 1 または 2 に障害が発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 点灯しているオレンジの LED に対応する電源装置をチェックしてください (「電源装置 LED」(P.1-24) を参照)。</li> <li>2. 電源装置が正しく取り付けられていることを確認してください。</li> <li>3. 障害の発生した電源装置を特定するには、いずれかの電源装置を取り外します。</li> <li>4. 障害の発生した電源装置を交換してください。</li> </ol>
PCI	PCI バスまたはシステム ボード上でエラーが発生しました。エラーの発生している PCI スロットの横で、別の LED も点灯します。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
SP	サービス プロセッサ エラーが検出されました。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムをシャットダウンし、NCS アプライアンスから電源コードを外します。その後、NCS アプライアンスを電源に接続しなおし、再起動します。</li> <li>2. 問題が解決しない場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けてください。</li> </ol>
FAN	ファンに障害が発生したか、動作が遅すぎるか、または取り外されています。TEMP LED も点灯する場合があります。	Cisco Prime Network Control System アプライアンスの交換と今後のサポートについては、Cisco TAC にお問い合わせください。
TEMP	システム温度がしきい値レベルを超えています。ファンの故障によって、TEMP LED が点灯する場合があります。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
MEM	MEM LED のみが点灯しているときは、メモリ エラーが発生しています。MEM LED と CNFG LED が点灯しているときは、メモリ構成が無効であるか、PCI オプション ROM がリソース不足です。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
NMI	マスク不能割り込みが発生したか、NMI ボタンが押されました。	<p>エラーの情報については、システムエラー ログをチェックしてください。</p> <p>さらにサポートが必要な場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。</p>

表 1-3 ライトパス診断パネルの LED (続き)

問題が解決されるまで、アクション列に示されている順番のとおり、提案されるアクションを実行してください。

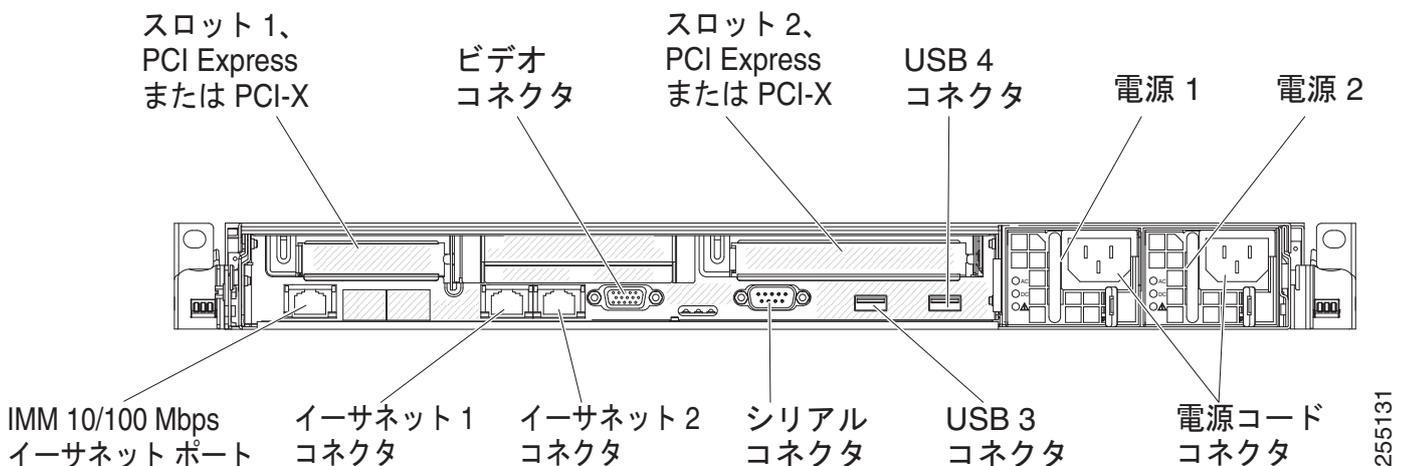
LED	説明	アクション
CNFG	ハードウェア構成エラーが発生しました。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
CPU	マイクロプロセッサ構成が無効であるか、マイクロプロセッサに障害が発生しました (CPU LED と CNFG LED の両方が点灯する場合があります)。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
VRM	予約されています。	—
DASD	ハードディスクドライブに障害が発生したか、欠落しています。	<ol style="list-style-type: none"> <li>ステータス LED が点灯しているドライブに対応するハードディスクドライブ上の LED を確認して、ハードディスクドライブを装着しなおします。</li> <li>ドライブを装着しなおしても問題が解決しない場合は、障害のあるハードディスクドライブを交換する必要があります。Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。</li> </ol>
RAID	予約されています。	—
BRD	システムボード上でエラーが発生しました。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。

## 背面パネル

図 1-5 に、Cisco Prime Network Control System アプライアンスの背面パネルの詳細を示します。

図 1-6 に、Cisco Prime Network Control System アプライアンスの背面パネルの LED を示します。

図 1-5 Cisco Prime Network Control System アプライアンスの背面パネル



## 背面パネルのコンポーネント

- **PCI スロット 1** : Cisco Prime Network Control System ではこのスロットは使用されません。
- **PCI スロット 2** : Cisco Prime Network Control System ではこのスロットは使用されません。
- **電源コード コネクタ** : 電源コードをこれらのコネクタに接続します。



(注) 電源装置 1 は、デフォルト/プライマリ電源です。電源装置 1 が故障した場合は、ただちに交換が必要です。

- **ビデオ コネクタ** : このコネクタにモニタを接続します。NCS アプライアンスの前面および背面にあるビデオ コネクタは、同時に使用できます。

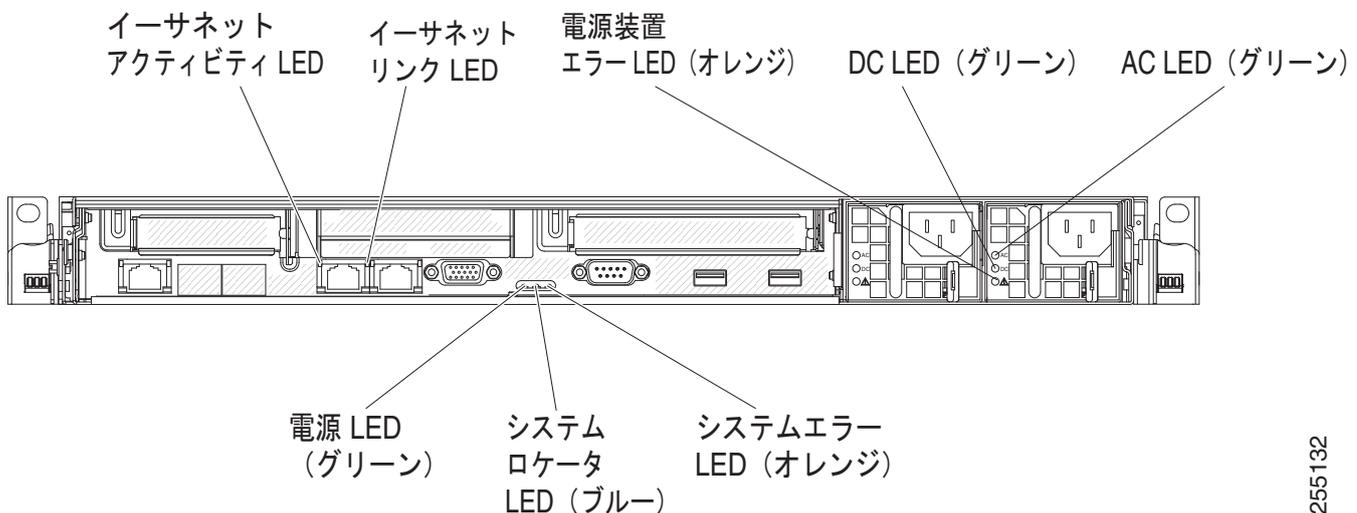


(注) 最大ビデオ解像度は 1600 x 1200、75 Hz です。

- **シリアル コネクタ** : シリアル コンソール ケーブルをこのコネクタに接続します。
- **USB コネクタ** : USB マウスやキーボードなどの USB デバイスをこれらのいずれかのコネクタに接続します。
- **IMM 10/100 Mbps イーサネット ポート** : 将来のリリース用です。
- **イーサネット コネクタ** : イーサネット 1 を使用して、NCS アプライアンスをネットワークに接続します。

図 1-6 に、NCS アプライアンスの背面にある LED を示します。

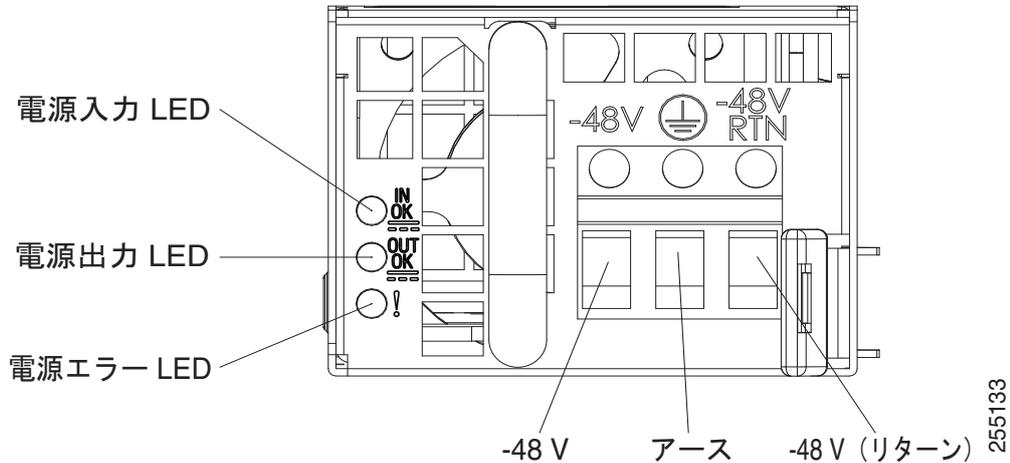
図 1-6 Cisco Prime Network Control System アプライアンスの背面パネルの LED



255132

図 1-7 に、DC 電源装置の LED の詳細を示します。

図 1-7 Cisco Prime Network Control System アプライアンスの DC 電源装置 LED の拡大図



- **イーサネット アクティビティ LED** : これらの LED が点灯しているときは、NCS アプライアンスが、イーサネット ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号を送信または受信していることを示しています。
- **イーサネット リンク LED** : これらの LED が点灯しているときは、イーサネット ポートの 10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-TX インターフェイスにアクティブ リンク接続があることを示しています。
- **AC 電源 LED** : 各ホットスワップ電源装置には、AC 電源 LED と DC 電源 LED があります。AC 電源 LED が点灯しているときは、電源コードを通じて十分な電力が電源装置に供給されていることを示しています。通常の動作中は、AC 電源 LED と DC 電源 LED の両方が点灯します。
- **IN OK 電源 LED** : 各ホットスワップ DC 電源装置には、IN OK 電源 LED と OUT OK 電源 LED があります。IN OK 電源 LED が点灯しているときは、電源コードを通じて十分な電力が電源装置に供給されていることを示しています。通常の動作中は、IN OK 電源 LED と OUT OK 電源 LED の両方が点灯します。
- **DC 電源 LED** : 各ホットスワップ電源装置には、DC 電源 LED と AC 電源 LED があります。DC 電源 LED が点灯しているときは、電源装置からシステムに十分な DC 電力が供給されていることを示しています。通常の動作中は、AC 電源 LED と DC 電源 LED の両方が点灯します。
- **OUT OK 電源 LED** : 各ホットスワップ DC 電源装置には、IN OK 電源 LED と OUT OK 電源 LED があります。OUT OK 電源 LED が点灯しているときは、電源装置からシステムに十分な DC 電力が供給されていることを示しています。通常の動作中は、IN OK 電源 LED と OUT OK 電源 LED の両方が点灯します。
- **システムエラー LED** : この LED が点灯しているときは、システム エラーが発生していることを示しています。ライト パス診断パネル上の LED の点灯は、エラーの特定にも役立ちます。
- **電源オン LED** : この LED が点滅ではなく、点灯しているときは、NCS アプライアンスがオンになっていることを示しています。電源オン LED の状態は次のとおりです。
  - 消灯 : 電力が供給されていないか、電源装置または LED 自体に障害が発生しています。
  - 高速点滅 (1 秒に 4 回) : NCS アプライアンスはオフになっており、オンにする準備が整っていません。電源制御ボタンはディセーブルになります。この状態は、約 20 ~ 40 秒間続きます。

- 低速点滅 (1 秒に 1 回) : NCS アプライアンスはオフになっており、オンにする準備が整っています。電源制御ボタンを押すと、NCS アプライアンスがオンになります。
- 点灯 : NCS アプライアンスがオンになっています。
- 徐々に退色する点滅 : NCS アプライアンスは省電力状態にあります。NCS アプライアンスを起動するには、電源制御ボタンを押します。
- システムロケータ LED : 他のサーバ間から NCS アプライアンスの位置を視覚的に特定するには、この LED を使用します。この LED をリモートから点灯させる場合は、『*Integrated Management Module User's Guide*』を使用してください。

## 電源装置 LED

図 1-8 に、Cisco Prime Network Control System アプライアンスの背面にある電源装置 LED の位置を示します。電源装置の問題解決に関するその他の情報については、表 1-4 を参照してください。

図 1-8 Cisco Prime Network Control System アプライアンスの電源装置 LED の位置

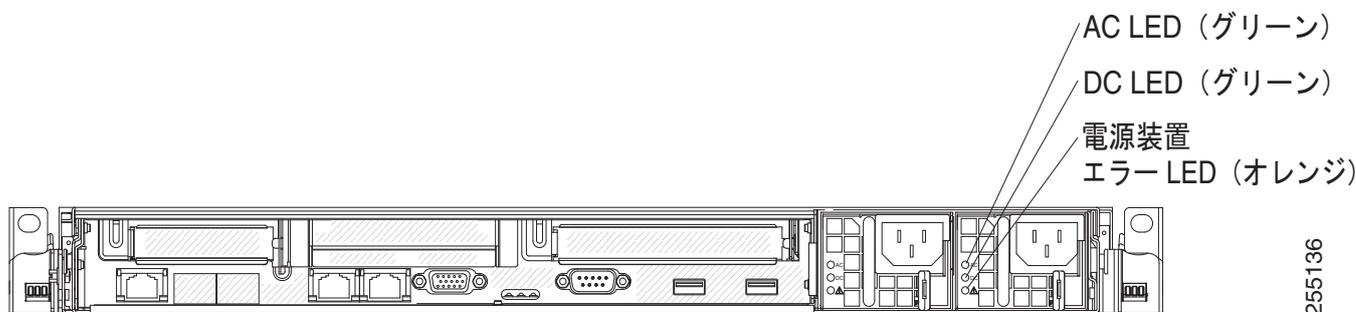


表 1-4 では、AC 電源装置にある電源装置 LED のさまざまな組み合わせが示す問題と、検出された問題を修正するために提案されるアクションについて説明します。

表 1-4 Cisco Prime Network Control System アプライアンスの AC 電源装置に関するトラブルシューティング

AC 電源装置 LED			説明	アクション	注意
AC	DC	Error (!)			
On	On	Off	通常動作中	—	—
Off	Off	Off	NCS アプライアンスへの AC 電源がないか、AC 電源に問題があります。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. NCS アプライアンスへの AP 電源を確認します。</li> <li>2. 各電源コードが、正常に機能している電源に接続されていることを確認します。</li> <li>3. NCS アプライアンスを再起動します。エラーが解消しない場合は、電源装置 LED を確認してください。</li> <li>4. 電源装置を交換します。</li> </ol>	AC 電源が存在しない場合、これは正常な状態です。

表 1-4 Cisco Prime Network Control System アプライアンスの AC 電源装置に関するトラブルシューティング (続き)

AC 電源装置 LED			説明	アクション	注意
AC	DC	Error (!)			
Off	Off	On	NCS アプライアンスへの AC 電源がないか、AC 電源に問題があり、電源装置で内部問題が検出されました。	<ol style="list-style-type: none"> <li>各電源コードが、正常に機能している電源に接続されていることを確認します。</li> <li>電源装置を交換します。</li> </ol>	この問題は、2 台目の電源装置から NCS アプライアンスに給電しているときにのみ発生します。
Off	On	Off	電源装置に問題があります。	電源装置を交換します。	—
Off	On	On	電源装置に問題があります。	電源装置を交換します。	—
On	Off	Off	電源装置が完全に装着されていないか、システムボードに問題があるか、または電源装置に問題があります。	<ol style="list-style-type: none"> <li>電源装置を装着し直します。</li> <li>このアクションで問題が解決しない場合は、電源装置を交換してください。電源装置を交換してもこの問題が解決しない場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けてください。</li> </ol>	通常は、電源装置が完全に装着されていないことを示します。
On	Off	On	電源装置に問題があります。	電源装置を交換します。	—
On	On	On	電源装置に問題がありますが、まだ動作可能な状態です。	電源装置を交換します。	—

## Cisco Prime Network Control System アプライアンスの電源機能

Cisco Prime Network Control System アプライアンスに電源を投入するための特定の手順は、「[Cisco Prime Network Control System アプライアンスの電源投入](#)」(P.1-30) に記載されています。

NCS アプライアンスが AC 電源に接続されているもののオンになっていないと、オペレーティングシステムは起動せず、サービスプロセッサ (統合管理モジュール) を除くすべてのコアロジックはシャットダウンされます。ただし、NCS アプライアンスは、NCS アプライアンスをオンにするリモート要求など、サービスプロセッサへの要求に応答できます。電源オン LED の点滅は、NCS アプライアンスが電源に接続されているもののオンになっていないことを示します。

## Cisco Prime Network Control System アプライアンスをオンにする

NCS アプライアンスが電源に接続されてから約 5 秒で、システムが電源に接続されている間の冷却を行うために 1 つまたは複数のファンが動作し始め、電源オン ボタンの LED がすばやく点滅します。NCS アプライアンスが電源に接続されてから約 20 ~ 40 秒で、電源制御ボタンがアクティブになり (電源オン LED がゆっくり点滅し)、NCS アプライアンスが電源に接続している間の冷却を行うために 1 つまたは複数のファンが動作を開始します。NCS アプライアンスをオンにするには、電源制御ボタンを押します。

NCS アプライアンスがオンのときに電源障害が発生した場合、電源が復元したときにシステムは自動的に再起動します。

## Cisco Prime Network Control System アプライアンスをオフにする

NCS アプライアンスをオフにして、電源に接続したままにしておくと、NCS アプライアンスは、NCS アプライアンスをオンにするリモート要求など、サービス プロセッサへの要求に応答できます。NCS アプライアンスが電源に接続された状態では、1 つまたは複数のファンが動作し続ける場合があります。NCS アプライアンスからすべての電力を取り除くには、電源から切り離す必要があります。



**注意**

デバイスの電源制御ボタンと、電源装置の電源スイッチでは、デバイスに供給されている電流を止めることはできません。また、デバイスには複数の電源コードが接続されている場合があります。デバイスからすべての電流を取り除くには、すべての電源コードが電源から取り外されていることを確認してください。

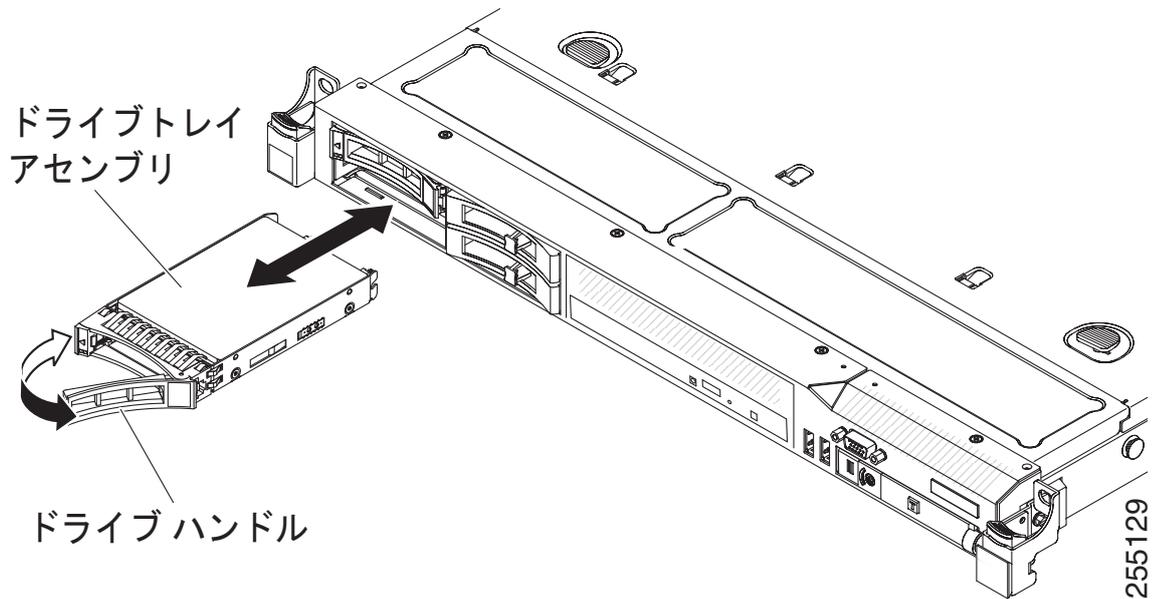


重大なシステム障害に対する自動応答として、統合管理モジュール (IMM) が NCS アプライアンスをオフにする場合があります。

## 障害のあるホットスワップハードディスクドライブの交換

2.5 インチ ホットスワップ SAS ハードディスクドライブを交換するには、次の手順に従います。

交換用のハードディスクドライブはシスコに発注できます。交換部品 PID は、AIR-SRVR-146GB-HD= です。



- ステップ 1** 「一般的な警告、規制準拠、および安全性に関する情報」(P.viii) の安全情報をお読みください。
- ステップ 2** ドライブを含む静電気保護パッケージを NCS アプライアンスの塗装されていない金属面に接触させます。その後、パッケージからドライブを取り出し、静電気防止面に置きます。
- ステップ 3** 交換するドライブをドライブ スロットから引き出す前に、そのドライブに障害があることを確認してください。トレイ ハンドルを押して、ドライブのロックを解除します。トレイ ハンドルを引いて、ドライブを取り外します。
- ステップ 4** 次のように、ドライブ ベイにハードディスク ドライブを装着します。
- トレイ ハンドルがオープン (ロック解除) の位置にあることを確認します。
  - ドライブ アセンブリと、ベイ内のガイドレールの位置を合わせます。
  - ドライブが止まるまで、ドライブ アセンブリをベイにゆっくり押し込みます。
  - トレイ ハンドルをクローズ (ロック) の位置まで回します。
  - ハードディスク ドライブのステータス LED をチェックして、ハードディスク ドライブが正常に動作していることを確認します。あるドライブに対応するオレンジのハードディスク ドライブのステータス LED が点灯している場合、そのドライブには障害が発生しているため、交換する必要があります。グリーン of ハードディスク ドライブのアクティビティ LED が点滅している場合は、そのドライブがアクセスされていることを示しています。

## ホットスワップ AC 電源装置の交換

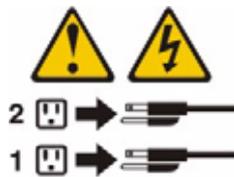
ここでは、NCS アプライアンスがサポートする AC 電源装置のタイプと、故障した電源装置を交換するときに考慮する必要のあるその他の情報について説明します。

- Cisco Prime Network Control System アプライアンスには、電源装置ベイ 1 および 2 に接続する、2 台の 675 ワット ホットスワップ 12 ボルト出力電源装置が付属しています。入力電圧は自動検知の 110 VAC または 220 VAC です。

- 電源装置 1 は、デフォルト/プライマリ電源です。電源装置 1 に障害が発生した場合は、ただちに交換する必要があります。
- 交換用の電源装置はシスコに発注できます。交換部品 PID は、AIR-SRVR-PWR= です。
- これらの電源装置は、並行動作用に設計されています。電源装置の障害イベントが発生すると、冗長電源が引き続きシステムに電力を供給します。

**注意**

デバイスの電源制御ボタンと、電源装置の電源スイッチでは、デバイスに供給されている電流を止めることはできません。また、デバイスには複数の電源コードが接続されている場合があります。デバイスからすべての電流を取り除くには、すべての電源コードが電源から取り外されていることを確認してください。

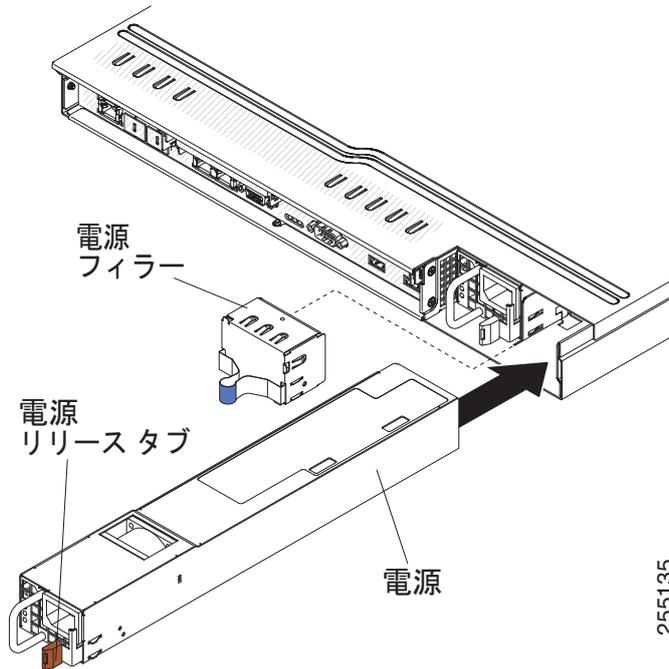
**注意**

電源装置のカバーや、次のラベルの付いた部品は取り外さないでください。このラベルの付いたコンポーネント内には、危険な電圧、電流、およびエネルギー レベルが存在します。これらのコンポーネント内に保守可能な部品はありません。これらの部品のいずれかに問題があると思われる場合は、サービス技術者に連絡してください。



ホットスワップ電源装置を装着するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** 「一般的な警告、規制準拠、および安全性に関する情報」(P.viii) の安全情報をお読みください。
- ステップ 2** ホットスワップ電源装置を含む静電気保護パッケージを NCS アプライアンスの塗装されていない金属面に接触させます。その後、パッケージから電源装置を取り出し、静電気防止面に置きます。
- ステップ 3** 最初に、障害のある電源装置を取り外します。電源装置の背面にあるハンドルを握り、電源装置をシャーシから引き出します。



- ステップ 4** 電源装置の背面にあるハンドルを握り、カチッと音がするまで電源装置を電源装置ベイに押し込みます。電源装置が電源装置コネクタにしっかり接続していることを確認します。
- ステップ 5** 電源コードが誤って外れないように、コードをハンドルに通します。
- ステップ 6** 新しい電源装置の電源コードを、電源装置の電源コードコネクタに接続します。
- ステップ 7** 適切にアースされたコンセントに電源コードの反対側を接続します。
- ステップ 8** AC 電源装置の AC 電源 LED と DC 電源 LED が点灯して、電源装置の正常な動作を示していることを確認します。グリーン色の 2 つの LED が、電源コードコネクタの右側にあります。

## ケーブルの接続

図 1-9 に、NCS アプライアンスの前面にある入力コネクタと出力コネクタの位置を示します。

図 1-9 Cisco Prime Network Control System アプライアンスの前面

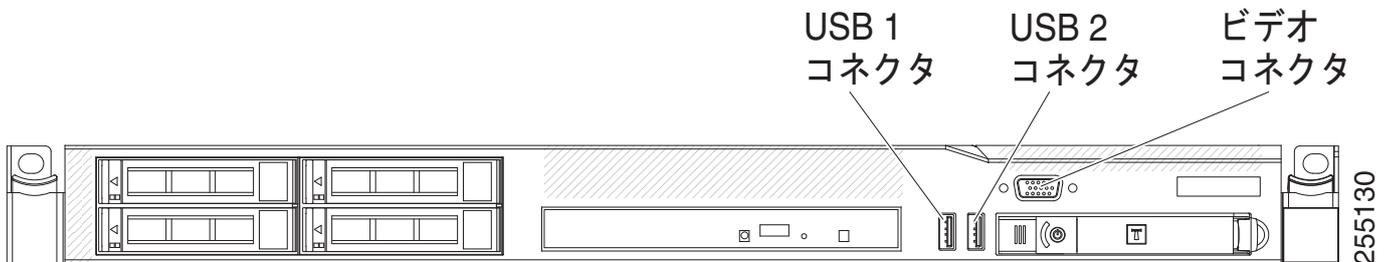
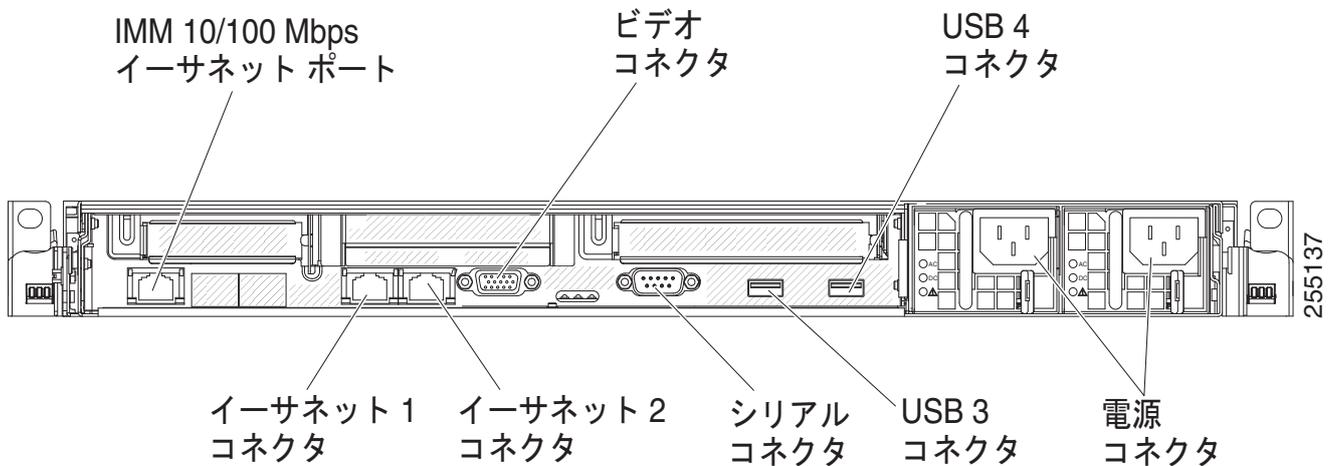


図 1-10 に、NCS アプライアンスの背面にある入力コネクタと出力コネクタの位置を示します。

図 1-10 Cisco Prime Network Control System アプライアンスの背面



## CLI コンソールの接続と使用

初期のシステム設定では、コマンドライン インターフェイス (CLI) コンソールを使用します。CLI コンソールは、NCS アプライアンスの背面パネルにある DB9 コンソール ポートに接続します。図 1-5 (P.1-21) に、NCS アプライアンスの背面パネルにあるコンソール ポートを示します。背面パネルのコンポーネントについては、「背面パネルのコンポーネント」(P.1-22) で説明しています。

CLI コンソールセッションには、次のターミナル エミュレータ設定を使用します。

- 9600 ボー
- 8 データ ビット
- フロー制御なし
- 1 ストップ ビット
- パリティなし

## Cisco Prime Network Control System アプライアンスの電源投入

NCS アプライアンスに AC 電源を適用すると、起動スクリプトによってオペレーティング システムと保存済みの設定が初期化されます。ユーザ ID とパスワードの入力と、キー設定の詳細の入力を要求するプロンプトが表示されます。

NCS アプライアンスの電源を入れるには、次の手順に従います。

- ステップ 1** AC 電源コードを 2 台の電源装置の背面に差し込みます (図 1-5 (P.1-21))。電源装置を 1 台しか電源に接続しなくてもシステムは正常に機能しますが、NCS アプライアンスのモニタリング コンポーネントが 2 台目の電源装置が存在しないことを検出します。NCS アプライアンスは内部アラームを発信し、[Administration] > [Appliance] ページに障害が表示されます。アースされた 100 ~ 240 VAC 50/60 Hz のコンセントに、電源コードの反対側を接続します。

NCS アプライアンスに差し込む側の電源コードは、IEC 320 標準に準拠しています。

- ステップ 2** オペレータ情報パネルにある前面パネルの電源オン/スタンバイ ボタンを使用して、NCS アプライアンスをオンにします (図 1-2 (P.1-17))。
- ステップ 3** ログイン プロンプトで、NCS アプライアンスのユーザ ID とパスワードを入力します。ユーザ ID とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。これで、NCS アプライアンスのオペレーティング システムにログインできます。[「Cisco Prime Network Control System アプライアンスの設定」 \(P.1-31\)](#) に進みます。

## Cisco Prime Network Control System アプライアンスの設定

Cisco Prime Network Control System アプライアンスの最小限の設定は、コンソールを使用したインストールの一環として実行されます。自動インストールを使用した初期セットアップ以外のすべての設定は、セットアップ後に CLI から、または NCS アプライアンスの GUI から行います。自動インストールの詳細については、「[自動インストール スクリプト](#)」(P.1-31) を参照してください。この項で取り上げるインストールの例は、セットアップで使用される可能性のある 2 つのパスを示しています。1 つは HA プライマリ マシンのパス、もう 1 つは HA セカンダリ マシンのパスです。

### 自動インストール スクリプト

- ステップ 1** アプライアンスに初めて電源を投入すると、セットアップ プロンプトが表示されます。プロンプトで **setup** と入力します。

```
*****  
Please type 'setup' to configure the appliance  
*****
```

```
localhost.localdomain login: setup
```

```
...
```

- ステップ 2** NCS アプライアンスを設定するための一連のシステム プロンプトが表示されます。システム プロンプトに必要な値を入力します。

```
Press 'Ctrl-C' to abort setup
```

ホスト名は、ネットワーク上のデバイスを識別できる一意の名前です。ホスト名は、文字で開始し、文字または数字で終了し、文字、数字、およびダッシュだけを含みます。

```
Enter hostname []: myNCS  
Enter IP address[]: 1.2.3.4  
Enter IP default netmask[]: 255.255.255.0  
Enter IP default gateway[]: 1.2.3.1
```

DNS 情報を入力します。このデバイスが属するネットワーク ドメインのドメイン名を入力します。ドメイン名は、文字で開始し、.com などの有効なドメイン名サフィックスで終了します。ドメイン名は、文字、数字、ダッシュ、およびドットのみで構成する必要があります。

```
Enter default DNS domain[]: mydomain.com  
Enter primary nameserver[]: 1.2.3.2  
Add/Edit another nameserver? Y/N : N
```

NTP サーバの情報を入力します。



(注) NCS アプライアンスおよびそれに関連付けられたコントローラは、同じ NTP サーバにマッピングされる必要があります。NTP サーバは、コントローラ、NCS アプライアンス、およびモビリティ サービス エンジン間で時刻を自動的に同期させるために必要です。



(注) 使用可能な時間帯のリストは、付録 A に記載されています。

```
Enter primary NTP server[time.nist.gov]:
Add/Edit secondary NTP server? Y/N : N
Enter system timezone[UTC]: US/Pacific
Enter username[admin]:
Enter password:
Enter password again:
Bringing up network interface...
Pinging the gateway...
Pinging the primary nameserver...
Do not use 'Ctrl-C' from this point on...
Appliance is configured
Installing applications...
Installing NCS ...
*****
* Cisco Prime Network Control System Setup      *
*****
Enter "^" to return to previous question.
```

## HA プライマリ マシン

```
*****
* High Availability Role Selection                *
*****
Will this server be used as a Secondary for HA? (yes/no) [no]:

*****
* Web Interface Root Password Selection         *
*****
Enter root password:
Enter root password again:

*****
* FTP Password Selection                        *
*****
Enter ftp password:
Enter ftp password again:

*****
* Summary                                       *
*****
Server will not be a Secondary
Root Password is set.
Ftp Password is set.
Apply these settings? (y/n)n
```

## HA セカンダリ マシン

```
*****
```

```
* High Availability Role Selection *
*****
Will this server be used as a Secondary for HA? (yes/no)[no]:yes

*****
* Web Interface Root Password Selection *
*****
Enter root password:
Enter root password again:

*****
* FTP Password Selection *
*****
Enter ftp password:
Enter ftp password again:

*****
* Summary *
*****
Server will not be a Secondary
Root Password is set.
Ftp Password is set.
Apply these settings? (y/n)y
Settings Applied.

Application bundle (NCS) installed successfully

=== Initial Setup for Application: NCS ===

Running database cloning script...
Running database creation script...
Setting limits.conf file...
Turning on ipmi service...
Setting up NCS service...
Generating configuration...
Rebooting...
```

## NCS アプライアンスへのログイン

システムのリブート後は、次の手順に従って Cisco Prime Network Control System アプライアンスにログインしてください。

**ステップ 1** Web ブラウザから、ルート ユーザとして NCS サーバにログインします。

- ログイン URL : **https://hostname**
- ユーザ名 : **root**
- パスワード : **\*\*\*\*\***

ルート パスワードは、セットアップ時に設定した Web パスワードです。ブラウザ ログインを介して NCS にログインした後で、ルート パスワードを変更できます。

# Cisco Wireless Controller System からのデータのエクスポート

Cisco Wireless Controller System (WCS) のバージョンから Cisco Prime Network Control System に移行する場合は、次の手順に従って、Cisco Wireless Controller System (WCS) からデータをエクスポートします。



(注) 現在の zip ツールで処理できる zip ファイルのサイズは、4 G までです。WCS データベース ファイルが 10 G より大きい場合、zip ファイルのサイズはおそらく 4 G よりも大きくなります。この問題が生じた場合は、パッチを要求してください。

- ステップ 1** 既存の WCS を停止します。
- ステップ 2** `bin` ディレクトリへの `cd` コマンドを実行します。
- ステップ 3** ご使用のオペレーティング システムに応じて次のいずれかのコマンドを使用し、エクスポートを実行します。プロンプトに従って、パスとエクスポート ファイル名を指定します。
- Linux の場合 : `export.sh all /data/wcs.zip`
  - Windows の場合 : `export.bat all c:\wcs.zip`

# Cisco Prime Network Control System への WCS データのインポート

NCS は、WCS リリース 7.0.164.3 からのデータの移行のみをサポートします。WCS から NCS へのデータ移行の詳細および手順については、次の URL にある『Cisco Prime NCS Prime Configuration Guide』の第 4 章「Performing Maintenance Operations」で、「Performing NCS operations: Upgrading WCS to NCS」の項を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps11686/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps11686/tsd_products_support_series_home.html)

# NTP サーバの設定

NTP サーバを設定して、NCS アプライアンスの時刻と日付を設定できます。



(注) 自動インストール スクリプトの一環として、NTP をイネーブルにし、NTP サーバ IP アドレスを入力するように求めるプロンプトが自動的に表示されます。自動インストール スクリプトの詳細については、「Cisco Prime Network Control System アプライアンスの設定」(P.1-31) を参照してください。



(注) NTP 設定の詳細については、Linux の設定ガイドを参照してください。

アプライアンスのセットアップ時に、NTP サーバの追加を促すプロンプトが表示されました。NCS アプライアンスの起動後は、次のコマンドを使用して NTP サーバの設定を変更できます。

```
admin# configure
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
admin(config)# ntp ?
    server  Specify NTP server(s) to use

admin(config)# ntp server ?
    <WORD>  NTP server, IP or HOSTNAME (Max Size - 255)

admin(config)# ntp server 1.2.3.4 ?
    <WORD>  NTP server, IP or HOSTNAME (Max Size - 255)
    <cr>    Carriage return.

admin(config)# ntp server 1.2.3.4 1.2.3.5 ?
    <WORD>  NTP server, IP or HOSTNAME (Max Size - 255)
    <cr>    Carriage return.

admin(config)# ntp server 1.2.3.4 1.2.3.5 1.2.3.6 ?
    <cr>    Carriage return.

admin(config)# ntp server 1.2.3.4 1.2.3.5 1.2.3.6
```

## Cisco Prime Network Control System アプライアンス ソフトウェアの状態の確認

NCS アプライアンス ソフトウェアの状態はいつでも確認できます。NCS アプライアンスの CLI インターフェイスで、**ncs status** コマンドを入力します。

NCS アプライアンスが動作している場合、コマンド出力は次の例のようになります。

```
admin# ncs status
Health Monitor Server is running.
Reporting Server is Success
Ftp Server is Success
Database server is running
Tftp Server is Success
Matlab Server is Success
NMS Server is running.

admin#
```

NCS アプライアンスが動作していない場合、コマンド出力は次の例のようになります。

```
NCS Platform is down
```

## 手動による Cisco Prime Network Control System アプライアンス ソフトウェアの停止

NCS アプライアンス ソフトウェアは、初期設定後と各リブート後に自動的に実行されます。

ソフトウェアを手動で停止し、再起動するには、次の手順に従います。

---

**ステップ 1** ソフトウェアを停止するには、次のコマンドを入力します。

```
ncs stop
```

**ステップ 2** ステータスをチェックするには、次のコマンドを入力します。

```
ncs status
```

**ステップ 3** ソフトウェアを開始するには、次のコマンドを入力します。

```
ncs start
```

## 緊急リカバリ

### リカバリ ISO イメージのダウンロードと DVD への書き込み

ソフトウェアの破損、以前のリリースへのダウングレード、または問題のあるアプライアンスの復元などの緊急の状況では、次の手順に従って必要なリカバリ ISO イメージをダウンロードし、DVD に書き込みます。

- ステップ 1** リカバリ ISO は、Cisco TAC を通じて入手できます。Cisco TAC に連絡して、リカバリ ISO イメージファイルを手入手してください。
- ステップ 2** リカバリ ISO イメージ ファイルをダウンロードします。
- ステップ 3** リカバリ ISO イメージ ファイルを DVD に書き込みます。

### リカバリ イメージのインストール



**警告**

次の手順により、アプライアンスが完全に再インストールされます。アプライアンス上のデータはすべて削除されます。この手順を実行する前に、保存しておきたいデータまたはファイルをアプライアンスからコピーする必要があります。

- ステップ 1** リカバリ ISO DVD を挿入した状態で、NCS アプライアンスをリブートします。Cisco Prime Network Control System の初期画面が表示されます。

```
ISOLINUX 3.11 2005-09-02 Copyright (C) 1994-2005 H. Peter Anvin
```

```
Welcome to Cisco Prime Network Control System
```

```
To boot from hard disk, press <Enter>.
```

```
Available boot options:
```

```
[1] Network Control System Installation (Keyboard/Monitor)
[2] Network Control System Installation (Serial Console)
[3] Recover administrator password. (Keyboard/Monitor)
[4] Recover administrator password. (Serial Console)
<Enter> Boot existing OS from Hard Disk.
```

```
Enter boot option and press <return>.
```

boot:

- ステップ 2** アプライアンスへの接続方法によって、インストール オプション 1 または 2 から必要なオプションを選択します。

インストールが完了するのに約 30 分かかります。ISO イメージがインストールされると、NCS アプライアンスがリブートします。リブートが完了すると、次のプロンプトが表示され、アプライアンスのデータは完全に消去されます。

```
*****  
Please type 'setup' to configure the appliance  
*****
```

## 紛失した管理者パスワードの復旧

NCS アプライアンスの管理者パスワードを紛失したか、忘れてしまった場合は、次の手順に従います。

- ステップ 1** ISO DVD を挿入した状態で、NCS アプライアンスをリブートします。Cisco Prime Network Control System の初期画面が表示されます。

```
ISOLINUX 3.11 2005-09-02 Copyright (C) 1994-2005 H. Peter Anvin
```

```
Welcome to Cisco Prime Network Control System
```

```
To boot from hard disk, press <Enter>.
```

```
Available boot options:
```

```
[1] Network Control System Installation (Keyboard/Monitor)  
[2] Network Control System Installation (Serial Console)  
[3] Recover administrator password. (Keyboard/Monitor)  
[4] Recover administrator password. (Serial Console)  
<Enter> Boot existing OS from Hard Disk.
```

```
Enter boot option and press <return>.
```

boot:

- ステップ 2** アプライアンスへの接続方法によって、リカバリ オプション 3 または 4 から必要なオプションを選択します。





# APPENDIX A

## システム時間帯

この付録では、システム時間帯に使用可能なすべての値を示します。

Libya	GB-Eire	Kwajalein
GMT	Australia/Lord_Howe	Australia/West
Australia/Sydney	Australia/South	Australia/Queensland
Australia/Yancowinna	Australia/Melbourne	Australia/Canberra
Australia/Adelaide	Australia/Brisbane	Australia/Broken_Hill
Australia/North	Australia/Lindeman	Australia/Eucla
Australia/LHI	Australia/Perth	Australia/Tasmania
Australia/NSW	Australia/ACT	Australia/Darwin
Australia/Hobart	Australia/Victoria	Australia/Currie
EST	Hongkong	CST6CDT
GMT0	Iran	Etc/GMT-7
Etc/GMT	Etc/GMT-5	Etc/GMT+9
Etc/GMT0	Etc/GMT+5	Etc/UCT
Etc/GMT-6	Etc/GMT+8	Etc/GMT+10
Etc/GMT-9	Etc/GMT-11	Etc/GMT-13
Etc/GMT+0	Etc/GMT-1	Etc/GMT-10
Etc/GMT+3	Etc/GMT-0	Etc/GMT-3
Etc/GMT-8	Etc/GMT+11	Etc/Universal
Etc/GMT+4	Etc/UTC	Etc/GMT+12
Etc/Zulu	Etc/GMT+7	Etc/GMT-12
Etc/Greenwich	Etc/GMT-2	Etc/GMT+1
Etc/GMT-14	Etc/GMT-4	Etc/GMT+6
Etc/GMT+2	Antarctica/Palmer	Antarctica/Rothera
Antarctica/Casey	Antarctica/South_Pole	Antarctica/Davis
Antarctica/Syowa	Antarctica/DumontDUrville	Antarctica/Mawson
Antarctica/Vostok	Antarctica/McMurdo	W-SU
US/Central	US/Aleutian	US/Samoa
US/Mountain	US/Arizona	US/Michigan

US/East-Indiana	US/Pacific	US/Hawaii
US/Alaska	US/Eastern	US/Indiana-Starke
Eire	PRC	UCT
Jamaica	Chile/EasterIsland	Chile/Continental
Egypt	Brazil/West	Brazil/DeNoronha
Brazil/East	Brazil/Acre	Indian/Mahe
Indian/Antananarivo	Indian/Kerguelen	Indian/Mauritius
Indian/Chagos	Indian/Cocos	Indian/Reunion
Indian/Maldives	Indian/Mayotte	Indian/Christmas
Indian/Comoro	EET	Mideast/Riyadh88
Mideast/Riyadh89	Mideast/Riyadh87	Japan
Africa/Harare	Africa/Mogadishu	Africa/Cairo
Africa/Banjul	Africa/Luanda	Africa/Addis_Ababa
Africa/Johannesburg	Africa/Ouagadougou	Africa/Lubumbashi
Africa/Windhoek	Africa/Bissau	Africa/Nouakchott
Africa/Freetown	Africa/Sao_Tome	Africa/Brazzaville
Africa/Blantyre	Africa/Maseru	Africa/Algiers
Africa/Lome	Africa/Asmera	Africa/Tunis
Africa/Porto-Novo	Africa/Bamako	Africa/El_Aaiun
Africa/Kinshasa	Africa/Tripoli	Africa/Bujumbura
Africa/Bangui	Africa/Conakry	Africa/Lusaka
Africa/Nairobi	Africa/Ceuta	Africa/Mbabane
Africa/Timbuktu	Africa/Accra	Africa/Niamey
Africa/Gaborone	Africa/Djibouti	Africa/Lagos
Africa/Maputo	Africa/Kigali	Africa/Khartoum
Africa/Abidjan	Africa/Dar_es_Salaam	Africa/Asmara
Africa/Libreville	Africa/Dakar	Africa/Malabo
Africa/Kampala	Africa/Casablanca	Africa/Ndjamena
Africa/Monrovia	Africa/Douala	MST
Singapore	Europe/Copenhagen	Europe/Bratislava
Europe/Riga	Europe/Jersey	Europe/Uzhgorod
Europe/Luxembourg	Europe/Athens	Europe/Belfast
Europe/Samara	Europe/San_Marino	Europe/Tirane
Europe/Monaco	Europe/Sofia	Europe/Stockholm
Europe/Guernsey	Europe/Amsterdam	Europe/Sarajevo
Europe/Andorra	Europe/Zaporozhye	Europe/Bucharest
Europe/Dublin	Europe/Zagreb	Europe/Ljubljana
Europe/Prague	Europe/Moscow	Europe/Vatican
Europe/Kiev	Europe/Warsaw	Europe/Chisinau
Europe/Zurich	Europe/Malta	Europe/Skopje

Europe/Volgograd	Europe/Vaduz	Europe/Rome
Europe/Brussels	Europe/Helsinki	Europe/Belgrade
Europe/Istanbul	Europe/Budapest	Europe/Madrid
Europe/Mariehamn	Europe/Simferopol	Europe/Paris
Europe/Minsk	Europe/Vilnius	Europe/Podgorica
Europe/Isle_of_Man	Europe/Vienna	Europe/Kaliningrad
Europe/Gibraltar	Europe/Lisbon	Europe/Tallinn
Europe/Oslo	Europe/London	Europe/Nicosia
Europe/Tiraspol	Europe/Berlin	Mexico/BajaSur
Mexico/BajaNorte	Mexico/General	GMT+0
WET	MST7MDT	Turkey
Factory	Atlantic/St_Helena	Atlantic/Bermuda
Atlantic/Faeroe	Atlantic/Madeira	Atlantic/Canary
Atlantic/Jan_Mayen	Atlantic/Reykjavik	Atlantic/Stanley
Atlantic/Azores	Atlantic/South_Georgia	Atlantic/Cape_Verde
Atlantic/Faroe	GMT-0	Poland
America/El_Salvador	America/Montreal	America/St_Kitts
America/Godthab	America/Cambridge_Bay	America/Glace_Bay
America/St_Thomas	America/Chicago	America/Shiprock
America/St_Barthelemy	America/Chihuahua	America/Guadeloupe
America/Miquelon	America/Maceio	America/Toronto
America/Noronha	America/Swift_Current	America/Tortola
America/Mendoza	America/Argentina/Mendoza	America/Argentina/San_Luis
America/Argentina/ Buenos_Aires	America/Argentina/Catamarca	America/Argentina/Tucuman
America/Argentina/San_Juan	America/Argentina/La_Rioja	America/Argentina/Salta
America/Argentina/Cordoba	America/Argentina/Jujuy	America/Argentina/ ComodRivadavia
America/Argentina/Ushuaia	America/Argentina/Rio_Gallegos	America/St_Vincent
America/Boise	America/Regina	America/Thule
America/Santiago	America/Menominee	America/Coral_Harbour
America/Caracas	America/Aruba	America/Danmarkshavn
America/Jamaica	America/Fortaleza	America/Inuvik
America/Havana	America/Curacao	America/Cuiaba
America/Guatemala	America/Dawson	America/Yakutat
America/Atikokan	America/Nipigon	America/Grenada
America/Panama	America/Eirunepe	America/Phoenix
America/Belem	America/Goose_Bay	America/Sao_Paulo
America/Vancouver	America/Adak	America/Tijuana
America/Louisville	America/Scoresbysund	America/Halifax
America/Antigua	America/Winnipeg	America/Asuncion

America/Santarem	America/Knox_IN	America/Buenos_Aires
America/Catamarca	America/Pangnirtung	America/Rainy_River
America/Rankin_Inlet	America/Araguaina	America/Atka
America/Cayenne	America/Campo_Grande	America/Mazatlan
America/Porto_Velho	America/Anguilla	America/Whitehorse
America/Nassau	America/Hermosillo	America/Guyana
America/Grand_Turk	America/St_Lucia	America/Manaus
America/Blanc-Sablon	America/Kentucky/Monticello	America/Kentucky/Louisville
America/Ensenada	America/Anchorage	America/Managua
America/Costa_Rica	America/La_Paz	America/Puerto_Rico
America/Iqaluit	America/Virgin	America/Porto_Acre
America/Yellowknife	America/Boa_Vista	America/Montserrat
America/Juneau	America/Port-au-Prince	America/Recife
America/Port_of_Spain	America/Barbados	America/Bahia
America/Monterrey	America/Indiana/Knox	America/Indiana/Marengo
America/Indiana/Vincennes	America/Indiana/Tell_City	America/Indiana/Vevay
America/Indiana/Petersburg	America/Indiana/Indianapolis	America/Indiana/Winamac
America/Resolute	America/Cordoba	America/Rosario
America/Santo_Domingo	America/Denver	America/Edmonton
America/Thunder_Bay	America/Merida	America/Dawson_Creek
America/St_Johns	America/Cancun	America/Fort_Wayne
America/Dominica	America/Marigot	America/Jujuy
America/Rio_Branco	America/Mexico_City	America/Cayman
America/Indianapolis	America/New_York	America/Guayaquil
America/Lima	America/Los_Angeles	America/Martinique
America/Belize	America/Bogota	America/Paramaribo
America/Detroit	America/Nome	America/Montevideo
America/North_Dakota/ New_Salem	America/North_Dakota/Center	America/Tegucigalpa
America/Moncton	Cuba	Navajo
NZ-CHAT	Iceland	Universal
Pacific/Pitcairn	Pacific/Kwajalein	Pacific/Noumea
Pacific/Samoa	Pacific/Enderbury	Pacific/Rarotonga
Pacific/Pago_Pago	Pacific/Tarawa	Pacific/Fiji
Pacific/Chatham	Pacific/Guadacanal	Pacific/Honolulu
Pacific/Palau	Pacific/Galapagos	Pacific/Kosrae
Pacific/Majuro	Pacific/Guam	Pacific/Efate
Pacific/Funafuti	Pacific/Wallis	Pacific/Nauru
Pacific/Fakaofu	Pacific/Easter	Pacific/Norfolk
Pacific/Yap	Pacific/Johnston	Pacific/Truk

Pacific/Port_Moresby	Pacific/Saipan	Pacific/Tongatapu
Pacific/Midway	Pacific/Marquesas	Pacific/Kiritimati
Pacific/Gambier	Pacific/Niue	Pacific/Auckland
Pacific/Ponape	Pacific/Apia	Pacific/Tahiti
Pacific/Wake	Israel	UTC
Portugal	ROC	NZ
Canada/Central	Canada/Yukon	Canada/East-Saskatchewan
Canada/Mountain	Canada/Atlantic	Canada/Pacific
Canada/Eastern	Canada/Newfoundland	Canada/Saskatchewan
PST8PDT	Zulu	CET
Arctic/Longyearbyen	GB	ROK
EST5EDT	Greenwich	Asia/Pyongyang
Asia/Vladivostok	Asia/Ulaanbaatar	Asia/Tel_Aviv
Asia/Riyadh	Asia/Riyadh88	Asia/Baku
Asia/Kuching	Asia/Kashgar	Asia/Harbin
Asia/Katmandu	Asia/Riyadh89	Asia/Aqtobe
Asia/Thimbu	Asia/Baghdad	Asia/Colombo
Asia/Tokyo	Asia/Aqtau	Asia/Taipei
Asia/Kuwait	Asia/Chungking	Asia/Jayapura
Asia/Tashkent	Asia/Ujung_Pandang	Asia/Karachi
Asia/Dhaka	Asia/Singapore	Asia/Gaza
Asia/Sakhalin	Asia/Kuala_Lumpur	Asia/Dubai
Asia/Kabul	Asia/Dushanbe	Asia/Jakarta
Asia/Novosibirsk	Asia/Qyzylorda	Asia/Dili
Asia/Shanghai	Asia/Irkutsk	Asia/Kamchatka
Asia/Urumqi	Asia/Aden	Asia/Muscat
Asia/Magadan	Asia/Yekaterinburg	Asia/Tbilisi
Asia/Brunei	Asia/Krasnoyarsk	Asia/Hong_Kong
Asia/Omsk	Asia/Samarkand	Asia/Pontianak
Asia/Saigon	Asia/Hovd	Asia/Bahrain
Asia/Phnom_Penh	Asia/Ashkhabad	Asia/Kolkata
Asia/Bishkek	Asia/Macao	Asia/Anadyr
Asia/Calcutta	Asia/Ulan_Bator	Asia/Macau
Asia/Vientiane	Asia/Ashgabat	Asia/Istanbul
Asia/Dacca	Asia/Damascus	Asia/Yakutsk
Asia/Kathmandu	Asia/Makassar	Asia/Amman
Asia/Thimphu	Asia/Choibalsan	Asia/Manila
Asia/Yerevan	Asia/Tehran	Asia/Rangoon
Asia/Qatar	Asia/Almaty	Asia/Chongqing
Asia/Oral	Asia/Beirut	Asia/Seoul

Asia/Bangkok	Asia/Nicosia	Asia/Ho_Chi_Minh
Asia/Riyadh87	Asia/Jerusalem	MET
HST		



## APPENDIX **B**

# 安全上の考慮事項および翻訳版の安全上の警告

---

この付録には、Cisco Prime Network Control System アプライアンスに関する安全上の注意を示します。

この付録で説明する安全上の考慮事項と安全についての警告は、次のとおりです。

- 「安全上の考慮事項」 (P.B-2)
- 「警告の定義」 (P.B-2)
- 「複数の電源装置」 (P.B-2)
- 「取り付け手順」 (P.B-3)
- 「アース線に関する警告」 (P.B-3)
- 「ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーンに関する警告」 (P.B-4)
- 「装置の設置についての警告」 (P.B-4)
- 「バッテリーの取り扱い」 (P.B-5)
- 「製品の廃棄処分」 (P.B-5)
- 「電源ケーブルおよび AC アダプタ」 (P.B-5)

## 安全上の考慮事項

NCS アプライアンスを設置する際は、次のガイドラインに留意してください。

- ラックに設置した場合の温度上昇を考慮に入れて、周囲温度が 10 ~ 35 °C (50 ~ 95 °F) であることを確認してください。
- 複数の NCS アプライアンスを機器ラックに設置する場合は、ラック内のすべての機器が安全に稼動可能な定格電源が使用されていることを確認してください。
- NCS アプライアンスは、完全にアースされていることを確認してから機器ラックに設置してください。

## 警告の定義



Warning

### IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

**This warning symbol means danger. You are in a situation that could cause bodily injury. Before you work on any equipment, be aware of the hazards involved with electrical circuitry and be familiar with standard practices for preventing accidents. Use the statement number provided at the end of each warning to locate its translation in the translated safety warnings that accompanied this device. Statement 1071**

### SAVE THESE INSTRUCTIONS

警告 安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策に留意してください。警告の各国語版は、各注意事項の番号を基に、装置に付属の「Translated Safety Warnings」を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。

## 複数の電源装置



Warning

**This unit might have more than one power supply connection. All connections must be removed to de-energize the unit. Statement 1028**

警告 この装置には、複数の電源が接続されている場合があります。装置の電源を完全にオフにするには、すべての電源を切断する必要があります。

## 取り付け手順



**Read the installation instructions before connecting the system to the power source. Statement 1004**

警告 必ず設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。

## アース線に関する警告



**This equipment must be grounded. Never defeat the ground conductor or operate the equipment in the absence of a suitably installed ground conductor. Contact the appropriate electrical inspection authority or an electrician if you are uncertain that suitable grounding is available. Statement 1024**

警告 この装置はアース接続する必要があります。アース導体を破損しないよう注意し、アース導体を正しく取り付けないまま装置を稼働させないでください。アース接続が適正であるかどうか分からない場合には、電気検査機関または電気技術者に相談してください。

## ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーシに関する警告



### Warning

To prevent bodily injury when mounting or servicing this unit in a rack, you must take special precautions to ensure that the system remains stable. The following guidelines are provided to ensure your safety: Statement 1006

- This unit should be mounted at the bottom of the rack if it is the only unit in the rack.
- When mounting this unit in a partially filled rack, load the rack from the bottom to the top with the heaviest component at the bottom of the rack.
- If the rack is provided with stabilizing devices, install the stabilizers before mounting or servicing the unit in the rack.

警告 この装置をラックに設置したり保守作業を行ったりするときは、人身事故を防ぐため、システムが安定しているかどうかを十分に確認する必要があります。次の注意事項に従ってください。

- ラックにこの装置を単独で設置する場合は、ラックの一番下に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。

## 装置の設置についての警告



### Warning

Only trained and qualified personnel should be allowed to install, replace, or service this equipment. Statement 1030

警告 この装置の設置、交換、保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。

## バッテリーの取り扱い



**There is the danger of explosion if the battery is replaced incorrectly. Replace the battery only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. Statement 1015**

警告 不適切なバッテリーに交換すると、爆発の危険性があります。製造元が推奨するものと同じまたは同等のバッテリーだけを使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元が指示する方法に従って処分してください。

## 製品の廃棄処分



**Ultimate disposal of this product should be handled according to all national laws and regulations. Statement 1040**

警告 この製品を廃棄処分する際は、各国の法律および規制に従って取り扱ってください。

## 電源ケーブルおよび AC アダプタ

接続ケーブル、電源コード、ACアダプタなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。添付品・指定品以外の部品をご使用になると故障や動作不良、火災の原因となります。また、電気用品安全法により、当該法の認定（PSEとコードに表記）でなくUL認定（ULとコードに表記）の電源ケーブルは弊社が指定する製品以外の電気機器には使用できないためご注意ください。

ステートメント 371

■ 電源ケーブルおよび AC アダプタ



## APPENDIX **C**

### 規制情報

---

この付録では、Cisco Prime Network Control System アプライアンスに関する規制情報を示します。

## Cisco Prime Network Control System アプライアンスに関する FCC 規定について

この機器は、FCC 規定の Part 15 に基づくクラス A デジタル デバイスの制限に準拠していることがテストによって確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

## Declaration of Conformity with Regard to the EU Directive 1999/5/EC (R&TTE Directive)

This declaration is only valid for configurations (combinations of software, firmware and hardware) provided and/or supported by Cisco Systems. The use software or firmware not supported/provided by Cisco Systems may result that the equipment is no longer compliant with the regulatory requirements.

## ステートメント 191 : VCCI 準拠クラス A 警告 (日本)

**Warning**

**This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference by Information Technology Equipment (VCCI). If this equipment is used in a domestic environment, radio disturbance may arise. When such trouble occurs, the user may be required to take corrective actions.**

**警告**

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A